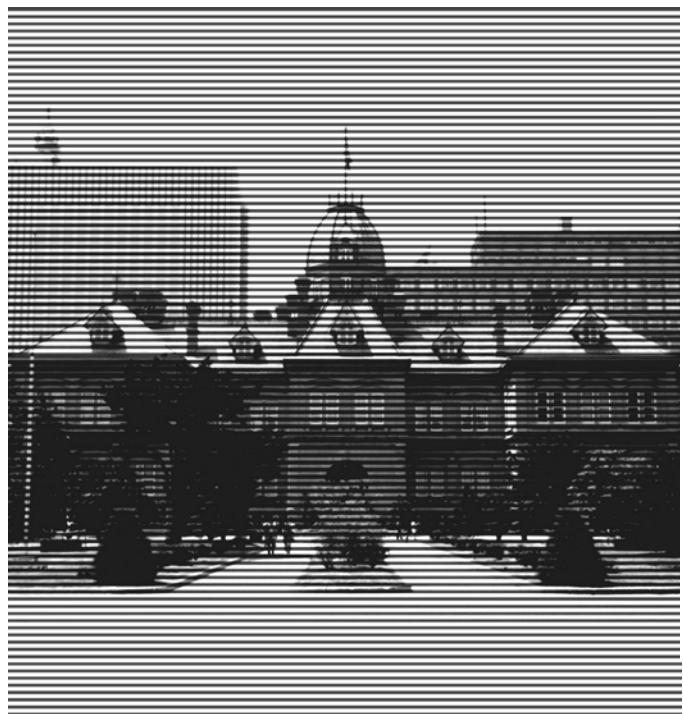


平成 23 年度版

札幌の観光

TOURISM OF SAPPORO

札幌市



目 次

第 1 章 札幌市の観光への取り組み

1 平成 23 年度観光コンベンション部の事業概要	1
2 平成 23 年度観光文化局観光コンベンション部の機構・職員数	11
3 平成 23 年度予算の概要	12
4 トピックス	14

第 2 章 観光客の入り込み状況

1 平成 22 年度の動向	17
2 観光客の入り込み状況	18

第 3 章 宿泊施設

1 宿泊調査の概要	26
2 宿泊施設の状況	27
3 宿泊施設利用状況	28
4 外国人の宿泊状況	31
5 修学旅行生の宿泊状況	35
6 定山渓地域の宿泊状況	37

第 4 章 イベントとコンベンション

1 札幌でのイベント開催状況	41
2 札幌でのコンベンション開催状況	49

第 5 章 参考資料

1 観光施設の利用状況	50
2 定期観光バス利用者数	52
3 北海道さっぽろ「食と観光」情報館・ 北海道さっぽろ観光案内所利用者数	53
4 札幌発着航空路線	54
5 気象概況	56
6 札幌観光のあゆみ	57
7 平成 23 年度イベントカレンダー	60

第1章 札幌市の観光への取り組み

1 平成23年度観光コンベンション部の事業概要

各事業の詳細については、【】内に記載している各担当係までお問い合わせください。

＜お問い合わせ先＞

札幌市観光文化局観光コンベンション部観光企画課

電話 011-211-2376

○観光客の受け入れ環境整備事業

(1) 観光案内所の運営管理【観光誘致・受入担当】

来札客に各種観光情報等を提供するため、市内に観光案内所を設置しています。常設の案内所のほか、観光シーズンやイベントに合わせて設置する案内所があります。

また、外国人来札客に対する観光情報提供場所として、国際観光振興機構（日本政府観光局：J N T O）の指定による「ビジット・ジャパン案内所（V案内所）」があります。

〔観光コンベンション部案内所一覧〕

名 称	概 要
北海道さっぽろ観光案内所 (V案内所)	所在地：中央区北6西4 JR札幌駅1階西側コンコース 定休日：年中無休 営業時間：8:30～20:00 電話番号：011-213-5088
カッコウの窓口 (V案内所)	所在地：中央区北1西2 北海道経済センタービル4階 札幌観光協会内 定休日：土日祝、年末年始 営業時間：8:45～17:15 電話番号：011-211-3341
大通公園観光案内所	所在地：中央区大通西3丁目 開設期間：春～秋季のみ 平成23年は4/28～10/31まで開設 定休日：開設期間中は無休 営業時間：9:30～17:30（4～6月、9・10月） 9:00～18:00（7・8月） 電話番号：なし
定山渓観光案内所	所在地：南区定山渓温泉東3丁目 定休日：年末年始 営業時間：9:00～17:00 電話番号：011-598-2012
札幌国際プラザ (V案内所)	所在地：中央区北1西3 札幌MNビル3階 定休日：日祝、年末年始 営業時間：9:00～17:30 電話番号：011-211-3678
雪まつり観光案内所	所在地：中央区大通西6・9丁目 開設期間：雪まつり会期中のみ 平成24年は2/6～2/12まで開設予定 定休日：雪まつり会期中無休 営業時間：9:00～22:00 電話番号：なし

(2) 観光マップ制作【観光誘致・受入担当】

来札客の円滑な周遊をサポートするためのツールとして、中心部及び広域マップに主な観光施設を掲載した「さっぽろ観光マップ」を発行しています。日本語のほか、英語、中国語（簡体字・繁体字）及びハングルの5言語を制作し、市内各案内所等で配布しています。

(3) 観光案内板の管理【庶務係】

来札客の利便性を図るために、195基の観光案内板を設置しています。表示言語は、日本語・英語・中国語（簡体字）・ハングルの4言語に加え、中国語（繁体字）の追記を順次行っており、外国人の来客にも対応しています。また、ピクトグラム（絵文字表記）などユニバーサルデザインを採用して利便性に配慮しています。

(4) 都心部観光バス待機場の設置【観光誘致・受入担当】

観光バスで訪れた観光客が街なかを見学している間、バスが路上駐車をしなくても済むように、札幌市と北海道バス協会が共同で観光バス専用の待機場を設置し、北海道バス協会が管理運営を行っています。

観光バス待機場所在地：中央区北1条西9丁目〔平成22年度利用台数12,475台〕

(5) 札幌まちめぐりバス事業への参画【観光誘致・受入担当】

公共交通の利用促進と、札幌を訪れる観光客の利便性、観光施設と連携した札幌の魅力アップを目的として行っている「札幌まちめぐりバス」の事業（平成18年度～平成20年度は実証実験）に参加しています。

日本語版パンフレットについては、平成20年度より、フリーペーパー要素を加味することで制作費・印刷費を広告収入で賄うこととし、事業の枠組みを確立しました。

○ホスピタリティ推進事業【観光誘致・受入担当】

(1) 観光ボランティアの運営

市民による観光ボランティアが、大通公園観光案内所や北海道さっぽろ観光案内所、雪まつり会場の案内所で、パンフレットの配布や観光スポットの紹介、写真撮影などの観光案内を行っています。地元住民ならではの意見が聞けるということで、観光客から好評を得ています。

登録数は149名（男51名・女98名）、平均年齢は63.7歳であり、活動は交代制となっています（平成23年9月現在）。

(2) 札幌魅力再発見研修

観光客への案内スキルの向上やおもてなし意識の醸成を図り、札幌観光の満足度向上を目的に、札幌市内のホテルのフロントやコンシェルジュ、観光事業者などを対象として、市内及びさっぽろ広域観光圏域内の観光スポットの視察研修・体験研修を実施しています。

(3) 市民と協働による観光リーフレット制作

地元市民が好んで行く札幌のおすすめスポット情報を札幌観光に役立てもらうことを目的に、テーマごとに市民おすすめ観光モデルコースの作成を行っています。市民と協働で事業を実施することで、観光ガイドブックの定番情報とは異なる地元市民ならではの情報を提供しています。リーフレットの制作のほか、観光情報サイト「ようこそさっぽろ」にも掲載しています。

ようこそさっぽろ（観光モデルコース）

<http://www.welcome.city.sapporo.jp/sansaku/>

(4) 札幌おもてなし委員会

まち全体のおもてなし向上を目指すため、観光関連団体（経済団体、観光関連事業者、都心部商店街、市民ボランティア、行政など）と連携・協力して立ち上げた、官民合同の組織である「札幌おもてなし委員会」の事務局をしています。おもてなしのための人材育成、大規模コンベンション等での統一感のあるおもてなし、観光関連事業者の情報共有・ネットワーク化を行い、おもてなしのレベルアップを図っていきます。

○観光情報の発信

(1) ホームページの運営管理

ア) 観光情報サイト「ようこそさっぽろ」の運営管理【企画調整担当】

札幌市の観光情報サイトとして「ようこそさっぽろ」を公開しています。

このサイトは、交通機関や観光施設等の基本情報のほか、イベントなど季節限定の情報を紹介。また、「その道の達人」が書く記事を月に数回更新するなど、定番から旬のものまでバラエティに富んだ観光情報を提供しています。日本語のほか、英語・中国語（繁体字・簡体字）・ハングル版があります。

ようこそさっぽろ <http://www.welcome.city.sapporo.jp>

イ) リアルタイム情報発信システム運営【観光誘致・受入担当】

市内で行われる様々な観光・文化事業の情報を集約し、季節情報（桜開花情報、紅葉情報など）や観光施設の運休情報（ロープウェイ、観光幌馬車など）などのリアルタイム情報とあわせて、市民へわかりやすく提供する「観光文化情報ステーション」を運営しています（観光文化局文化部に予算を委託し運営）。

なお、観光文化情報ステーションは以下のホームページでも情報発信を行っています。

観光文化情報ステーション

所在地：地下鉄南北線「大通駅」地下コンコース北改札口横

定休日：年末年始（12/29～1/3）

営業時間：10：00～20：00

【URL】<http://www.sapporo-info.com/index.php>

【携帯電話用URL】<http://www.sapporo-info.com/m/>

QRコード⇒



(2) 観光メールマガジンの配信【企画調整担当】

札幌観光の旬の魅力を広く発信するため、首都圏をはじめとする旅行会社の方々や、観光関連会社の方々、市内外の一般の方々などを対象に観光メールマガジンを配信しています。このメールマガジンでは、魅力が読者により伝わるよう観光コンベンション部職員が実際に体験取材を行い記事にしています。

メールマガジンの配信は、下記のホームページから申し込むことができます。

札幌の観光行政（メールマガジン配信申込・バックナンバー紹介）

http://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/mail_magazine/mail_magazine.html

(3) 観光情報共有メーリングリストの管理運営【企画調整担当】

季節情報（桜開花情報、紅葉情報など）や観光施設運休情報（ロープウェイ、観光幌馬車など）、各種イベント情報等の観光関連情報を、観光案内所や市内ホテル関係者などで共有するためのメーリングリスト「観光情報ネット」を運営しています。

(4) 観光写真ライブラリー【企画調整担当】

企業等が札幌の観光ガイドブックやパンフレット制作を行う際に必要となる市内の

観光スポット等の写真を保有しており、ホームページで無料ダウンロードサービスを行っています。〔平成 23 年 8 月現在 約 1,900 枚保有〕

札幌の観光行政(観光写真ライブラリー)

<http://www.welcome.city.sapporo.jp/photolibrary/>

(5) Twitter (ツイッター)【企画調整担当】

Twitterにおいて「札幌市観光コンベンション部」の名前でアカウントを設けており、イベントの告知をはじめとした観光情報の発信を行っています。〔平成 23 年 9 月現在のフォロワー数 約 5,000〕

札幌市観光コンベンション部@Sapporo_tourism(Twitter アカウント)

http://twitter.com/Sapporo_tourism

(6) Facebook (フェイスブック)【企画調整担当】

Facebookにおいて、日本語版と英語版のアカウントを設けており、写真や動画、観光情報の発信を行っています。

ようこそさっぽろ～札幌市の観光案内(日本語版)

<http://www.facebook.com/sapporocity>

Welcome to Sapporo(英語版)

<http://www.facebook.com/SapporoNow>

○修学旅行誘致に関する企画【観光振興担当】

首都圏などから中学・高校生の教育旅行を誘致するために、道央圏の関係団体（行政・観光協会等）で組織する「道央圏教育旅行推進会議」に参加し、学校関係者・旅行代理店を対象に説明会の開催や教育旅行誘致パンフレットの制作を行っています。

○藻岩山魅力アップ事業【企画調整担当】(4 トピックス(p16)参照)

ロープウェイ、展望台などといった藻岩山における各施設は、建設から 40 年近くが経過し老朽化が顕著となっていたため、「藻岩山魅力アップ構想」に基づき再整備を進めています。藻岩山は 190 万都市札幌の中心市街地に隣接しながら、天然記念物にも指定されているほどの豊かな自然を有しております、この恵まれた資源を市民や観光客、子どもから高齢者に至るまで誰もが体験できるよう再整備を行うもので、環境の保全とバリアフリーを 2 つの大きなテーマとしています。

平成 22 年 4 月より、ロープウェイ、展望台、観光道路は工事のため閉鎖していますが（登山道は利用可能です）、平成 23 年 12 月にリニューアルオープンする予定です。（観光道路は、冬期間はスキー場として利用されるため、平成 24 年 4 月にオープンする予定です。）

また、施設整備だけではなく、「藻岩山の日」など、多くの市民・観光客に藻岩山に親しんでいただけるような各種イベントの充実を図っていきます。

○国内外へ向けた観光プロモーション事業 (4 トピックス(p14)参照)

(1) 国内プロモーション事業【観光振興担当】

これまで本市が行ってきた国内観光客の誘客に向けた取り組みは、新たな旅行商品の造成を目的とした観光セミナー・商談会の開催と、イベントや雑誌を介した一般消費者への PR が中心でした。

現在の国内旅行については、個人手配旅行やフリー型パック旅行の需要が多くなっていることから、来札観光客の獲得には、一般消費者の来札意欲を喚起し、旅行先として選ばれることが重要と考えています。

そこで、今後事業を展開していくにあたっては、プロモーションの対象と時期をしっ

かりと定め、その時期に訴求力ある観光素材同士を組み合わせることで総合的な魅力を高め、関連事業者とも連携しながらさまざまな媒体を活用した情報発信を行い、より一般消費者の関心を引くプロモーションを展開し、来札意欲を喚起し、誘客へと繋げていく取り組みを行っていきます。

ア) 夏の観光 P R

対象地域：首都圏

主な観光素材：さっぽろ大通ビアガーデン、涼しい札幌の夏

イ) 秋の観光 P R

対象地域：関西圏

主な観光素材：さっぽろオータムフェスト、食

ウ) 冬の観光 P R

対象地域：首都圏

主な観光素材：さっぽろ雪まつり、藻岩山

(2) 国際プロモーション事業【観光誘致・受入担当】

平成 22 年の海外からわが国への来客数は、新型インフルエンザの影響の緩和、中国人個人観光査証の発給要件の緩和などにより、大幅な増加となりましたが、東日本大震災以降については、原発事故への不安などを背景に大幅な落ち込みとなっています。

札幌市では、海外からの観光客の回復を図るため、札幌の安全性や、街の様子について、インターネットを活用した発信を行うとともに、各国のメディアを招請して実際に見て確認してもらうなど、正確な情報発信に努めています。また、各種の PR 事業を展開することにより、旅行会社に対して旅行商品の造成を促したり、一般市民の旅行意欲を喚起します。

ア) 現地プロモーション事業

現地の旅行会社を対象に、観光 P R や商談会を行うことで、札幌の魅力を伝え、旅行商品の造成を促します。また現地のイベントや物産展とタイアップし、一般市民に向けて直接 P R を行うことで、旅行意欲を喚起します。

23 年度実施予定地：大田広域市（韓国）、台北市（台湾）、ユジノサハリンスク・ハバロフスク（ロシア）

イ) 国際旅行博覧会出展事業

旅行関係者や、旅行に関心の高い一般市民が集まる場で、観光 P R や情報提供を行うことで誘客につなげると同時に、来場者からの聞き取りによる市場調査を行います。

23 年度出展先：北京旅遊博、瀋陽国際観光祭（中国）、MATTA Fair（マレーシア）、トラベルマート 2011（横浜）

ウ) 情報発信事業

T V 局、旅行雑誌、旅行会社等の関係者を招請して札幌の安全性や観光の魅力を実際に体験してもらい、自国に伝えてもらうことや、フェイスブックやユーチューブ、ユーストリームなどインターネットを活用して、一般市民に直接情報発信を行い、旅行意欲を喚起します。

23 年度発信先：中国、韓国、香港、タイ、シンガポール、ロシア、インド

○コンベンション誘致・支援事業【観光誘致・受入担当】(4 トピックス(p15)参照)

近年、コンベンション（国際会議）のみならずイベントや企業の報奨旅行などを包括した MICE（マイス=Meeting、Incentive travel、Convention、Event/Exhibition）という概念が誕生し、国は平成 22 年を「Japan MICE Year」と銘打ち、MICE 推進に取り組ん

できました。札幌市では、都市間競争に打ち勝つため、平成22年11月に公益財団法人札幌国際プラザ コンベンションビューロー※とともに策定した「札幌MICE総合戦略」に基づき、産業界や大学、市民との連携や海外とのネットワークを重要な要素として、MICEによるさらなる集客を目指していきます。

(1) コンベンション誘致事業

会議の運営費用に係る助成金制度の整備や運用、国際コンベンション見本市への出展等、コンベンション誘致事業を行うほか、割引地下鉄1日乗車券「Aカード」の制作等の会議開催支援を行い、会議参加者のアフターコンベンション（会議後の観光等）を促進しています。

(2) 関係団体との連絡調整

札幌市におけるコンベンション誘致の中心組織である公益財団法人札幌国際プラザ コンベンションビューローに対して補助金を交付するとともに、国際コンベンション見本市への出展、会議開催の鍵となるキーパーソンに対する札幌招へい状の作成など、誘致事業についても連携しながら、実施しています。

また、大規模・国際的なコンベンション（例：国際顕微鏡学会、その他政府系国際会議など）の誘致については、関係者（道、経済団体、企業等）との意見交換や調整を図るなど、戦略的な誘致に向けた取り組みを行っています。

公益財団法人札幌国際プラザコンベンションビューロー：コンベンションを誘致するため、誘致段階（誘致プレゼンテーション資料の提供、招へい状の送付など）、開催段階（コンベンション運営支援、ボランティアの派遣）等の事業を主な活動とする非営利の推進機関です。

○ P R ツールの制作、配布・貸出【観光振興担当】

札幌の観光の魅力を視覚的にアピールしていくために、広報宣伝物を制作し、配布または貸出を行っています。

(1) 観光 P R 用 D V D ・ 映像ライブラリー素材

本市では、観光 P R 用の D V D を制作しており、様々な P R の機会をとらえて放映や配布を行っています。また、制作時に撮影した映像の一部をライブラリーとし、D V Dとともに広く貸し出しています。

貸出物の名称	言語	メディア	備考
「CINEMATIC CITY SAPPORO」	日本語、英語、中国語（簡体字、繁体字）、韓国語	DVD	初版：平成23年度
「CINEMATIC CITY SAPPORO」 映像ライブラリー素材		DVD [MPEG-2]	解像度 720×480
		テープ [HD-CAM]	解像度 1440×1080

インターネット上でも閲覧できます。

ようこそさっぽろ内の「CINEMATIC CITY SAPPORO」のページ

<http://www.welcome.city.sapporo.jp/movies>

(2) 観光 P R リーフレット・ポスター

本市では、さまざまな機会をとらえた幅広いプロモーション活動を行うため、観光 P R リーフレットとポスターを制作しています。制作したリーフレットやポスターは、全国各地で行われる物産展や各種イベント等で配布、掲出していきます。

○ 来札観光客の動向調査・分析、結果についての情報提供【企画調整担当】

(1) 来札観光客数、外国人宿泊者数の調査

札幌市への来札観光客の入り込み数や宿泊施設の利用状況などの調査を行い、本書

「札幌の観光」やインターネットで公開しています。

札幌の観光行政(観光統計データ)

<http://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/statistics/statistics.html>

(2) 来札観光客動態調査

来札観光客の動態を明らかにし、今後の観光行政に活用することを目的に、以下の調査を実施しています。

なお、過去の調査結果はホームページで公開しています。

札幌の観行行政(計画・調査レポート)

<http://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/program/program.html>

ア) 来札観光客満足度調査

道外からの観光客を対象に、来札観光の満足度、観光消費額、宿泊日数、再訪意向などに関するアンケート調査を実施しています。

[平成 22 年度 来札観光客の札幌観光に対する総合満足度：94.7%]

イ) 外国人観光客動態調査

香港、台湾、中国、韓国など外国人観光客を対象に、市内での観光行動や満足度などに関するアンケート調査を実施しています。

[平成 22 年度 外国人観光客の札幌観光に対する総合満足度：95.4%]

(3) 観光産業経済効果調査

所得形成効果や雇用創出効果など、観光がもたらす経済面での影響を把握・分析して、今後の観光施策をより効果的に実施していくため、札幌市内における観光消費額とこれに伴う経済波及効果を 5 年毎に調査・推計しています。

[平成 21 年 7 月～22 年 6 月 総観光消費額：3,689 億円、生産波及効果：4,274 億円
所得形成効果：2,459 億円、雇用効果：35,076 人]

○（仮称）札幌市観光振興プランの策定【企画調整担当】

札幌市では、観光を通じた豊かなまちづくりを進めるため、「(仮称) 札幌市観光振興プラン」を策定します。

平成 23 年度中の策定を目指しており、5 月より学識者、業界団体、市民公募委員などで構成する「札幌市観光振興プラン検討会議」を設置して、今後の方向性や取り組むべき施策などについて、具体的な検討を進めています。

札幌は、今や世界的なブランドとなっている北海道の食材が集中しているほか、便利な都会でありながらも市内・近隣には豊かな自然に恵まれており、四季に応じた美しい景色や、雪まつりのような独自色溢れるイベントを楽しむことができます。これらはほんの一例であり、札幌の魅力は他に例を見ないほど多岐に渡っていますが、札幌市民が楽しんでいる魅力の全てを観光で訪れた方が楽しんでいるわけではありません。今後は、札幌がもつ多種多様な魅力を最大限に活かすことで、札幌ならではの観光スタイル「Sapporo Tourism」を確立し、何度も行きたい「まち」となることで、集客交流をより一層促進していきます。

さらには、魅力を活かした集客交流により、まちに活力がもたらされ、市内消費の拡大が期待できます。その結果、魅力豊かなまちづくりがさらに進んでいく、という発展的な循環構造の確立を目指していきます。

○定山渓観光客誘致関連【観光振興担当】

平成 16 年度に策定された「定山渓温泉活性化ビジョンアクションプログラム」に関連して実施される各種ウォーキング、散策、定山渓エリアの食や文化等を発信する事業など、

定山渓温泉地域の魅力向上、来客誘致を促進する事業に対し支援を行っています。

○新たな観光魅力づくり、観光資源の開発【観光振興担当】

観光客の札幌市での滞在をより充実させることを目的に、各関係団体とも連携のうえ、札幌の新たな観光魅力づくり、観光資源の開発を行っています。

(1) さっぽろスイーツ

平成 17 年度に設立された「スイーツ王国さっぽろ推進協議会」を中心に、北海道産の優れた機能性食材を生かしたスイーツの開発や、国内外への P R 活動など様々な事業を開拓しています。

(2) 札幌広域圏組合

札幌広域圏組合は、広域的な地域振興を図ることを目的に、札幌近郊 8 市町村から構成されている特別地方公共団体です。圏域交流や圏域振興については近郊市町村と密度の濃い連携のもと、互いに無いものを補いながら、「点」としてではなく「面」として札幌圏を P R し、札幌圏への誘客を目指しています。また、同じ圏域を有する観光圏整備事業とも連携し、共通の取り組みとして協働で進めています。

主な事業としては、主要旅行会社担当者とともに札幌近郊の観光資源を活用し旅行商品化を促進する「圏域観光リプランニング事業」の実施や、積極的な首都圏での P R 活動、圏域の景色や体験、食など様々な観光資源を紹介したブログサイトの開設などの事業があります。

(3) 中核都市連携による観光振興

北海道内の中核都市(函館市・旭川市・釧路市・帯広市・北見市・札幌市)による観光連携協議会を平成 22 年 3 月に立ち上げました。今年度は、域内交流を目的とした「道内中核都市周遊促進事業」の実施をはじめ、北海道さっぽろ「食と観光」情報館イベントスペースにおいてポスター及びパンフレットの掲出やボランティア制度の情報共有などをを行う予定です。

(4) 観光圏整備事業

札幌市中心部などの都市としての魅力と周辺市町村に広がる大自然を観光資源とした札幌圏での 2 泊 3 日以上の滞在型観光を促進するため、周辺市町村や民間事業者と連携して「さっぽろ広域観光圏」を整備しました。「さっぽろ広域観光圏」では、少ない移動時間で都会と自然の両方を満喫できることをメリットとして各種事業を開拓しています。平成 23 年度は観光資源を結ぶ連泊型モデルツアーや、周遊促進マップ制作など、圏域の魅力アップを図っていきます。

観光圏：観光圏とは、観光庁が観光圏整備法に基づいて実施している事業です。観光圏に認定されることによって、宿泊、観光資源、交通移動、案内・情報提供などのレベルアップを図る地域の取り組みに対する事業費補助、ホテル・旅館による旅行業者代理業の特例措置などのメリットがあります。

(5) 札幌シティ・リゾートウェディング

挙式を兼ねた旅行の誘致も視野に入れながら、香港からのフォトウェディング（結婚記念写真旅行）の誘客のための写真集等の作成や P R を行います。

○各種まつりの企画実施【事業担当】(第 4 章 1 札幌でのイベント開催状況(p41~48)参照)

(1) さっぽろライラックまつり

ライラックの開花時期に大通公園で開催。昭和 34 年に第 1 回が開かれ平成 23 年で 53 回を迎えました。

(2) さっぽろ夏まつり

昭和 29 年に夏の観光名物の新規開拓を目指し誕生。平成 23 年で 58 回を迎えました。イベントの中心となっているのがさっぽろ大通ビアガーデンと北海盆踊りで、都市公園で 4 大ビールメーカーが一同にビアガーデンを開催するのは全国的にも珍しいものです。

(3) さっぽろオータムフェスト

平成 20 年度から、札幌の新たな秋のイベントとして開催。平成 23 年で 4 回目の開催となります。「北海道・札幌の食」をメインテーマとして、道内各地の旬の食材、ご当地グルメやラーメン、道産のお酒などを提供します。

(4) さっぽろ菊まつり

昭和 38 年に菊作り愛好者が増える中、小規模な同好会活動が一本化され、全市的なスケールのイベントとして誕生。平成 23 年で 49 回を迎え、札幌駅前通地下広場に会場を移しリニューアルします。

(5) さっぽろ雪まつり

昭和 25 年に始まったこのまつりは、札幌を代表する世界的なイベントで、平成 24 年で 63 回を迎えます。約 250 基の雪氷像が 7 日間にわたり市民や観光客を楽しませます。

○各種まつりの連絡調整【事業担当】

(1) YOSAKOI ソーラン祭り（第 4 章 1 札幌でのイベント開催状況 (p42) 参照）

平成 4 年に始まったこの祭りも平成 23 年で 20 回を迎え、約 200 万人の来場者が訪れる札幌の初夏を彩る一大イベントに成長しました。

(2) さっぽろホワイトイルミネーション（第 4 章 1 札幌でのイベント開催状況 (p47) 参照）

昭和 56 年に秋の観光シーズンとさっぽろ雪まつりをつなぐイベントとして誕生。平成 23 年で 31 回を迎えます。会場は大通公園、駅前通り及び南一条通りで、総数 50 万個もの電球が飾られ北の街の夜を幻想的に彩ります。

(3) ミュンヘンクリスマス市 in Sapporo

平成 14 年にミュンヘン市との姉妹提携 30 周年を記念し開催されました。会場は大通西 2 丁目で、ドイツのクリスマス市にちなんだ物販が行われ、札幌とミュンヘンの国際的な交流の場として市民に親しまれています。

○「札幌コンベンションセンター」の運営管理【庶務係】

国際会議や各種学会等の大規模な会議を、需要に応じて柔軟に対応できる大型コンベンション施設を設置しています。

〔札幌コンベンションセンター〕

所在地	白石区東札幌 6 条 1 丁目
電話番号	011-817-1010
開設年月	平成 15 年 6 月
構造／延床面積	鉄骨鉄筋コンクリート造、地下 1 階地上 3 階／20,309.90 m ²
開館時間	午前 9 時から午後 10 時まで（休館日 12 月 29 日から翌年 1 月 3 日）
管理運営	SORA-SCC 共同事業体（指定管理者）
主要施設	大ホール（シアター形式 2,500 人収容）、特別会議室（シアター形式 700 人収容） 中ホール（シアター形式 600 人収容）、小ホール（固定席 193 人収容） 会議室（15 室）、野外展示場、駐車場（475 台収容）
敷地面積	41,018.51 m ²
(URL)	http://www.sora-scc.jp/

○札幌国際ユースホステルの運営管理【庶務係】

来札観光客に低額な料金で、安全・快適な宿泊を提供する施設として札幌国際ユースホステルを設置しています。

[札幌国際ユースホステル]

所在地 豊平区豊平6条6丁目5番35号
電話番号 011-825-3120
開設年月 平成12年4月
構造／延床面積 鉄筋コンクリート造 地下1階付4階建／1,967.64m²
定員／利用期間 120人／通年
管理運営 一般財団法人北海道ユースホステル協会（指定管理者）
宿泊料金等 宿泊3,800円（中学生以下3,300円、4歳未満無料）（冷暖房、シーツ料、税込）食事（朝食630円）
敷地面積 918.93m²
(URL) <http://www.youthhostel.or.jp/kokusai/>

2 平成 23 年度観光文化局観光コンベンション部の機構・職員数

局長	部長	課長	係長	係員
観光文化局長 観光コンベンション部長	観光コンベンション部長	観光企画課長	庶務係長	3名
			企画調整担当係長	3名
		観光 PR・イベン ト担当課長	観光振興担当係長	3名
			事業担当係長	2名
			シティPR担当係長 (総務局東京事務所シ ティセールス担当係長 兼務)	
		MICE 推進担 当課長	観光誘致・受入担当係 長	4名
		定山渓地区担 当課長 (南区定山渓 出張所長兼務)	定山渓地区担当係長 (南区定山渓出張所次 長兼務)	
部長職 (札幌振興公社派遣)				
		課長職 (札幌観光協 会派遣)		
1名	2名	5名	7名	15名
合計職員数 30名				

3 平成 23 年度予算の概要（第 2 回定例市議会補正予算までを含めたもの）

《平成 23 年度観光コンベンション部 予算の概要》

予算総額 1,195,790 千円（対前年度当初予算比 73.8% の増）

観光振興費

・観光案内所運営費	54,448 千円	観光案内所の運営管理
・観光施設運営管理費	32,613 千円	コンベンションセンター・定山渓観光施設等の維持管理
・観光情報ポータルサイト運営費	28,176 千円	観光情報サイト「ようこそさっぽろ」運営管理
・観光企画宣伝費	37,485 千円	事務経費

観光行事等助成費

・観光行事等助成費	152,420 千円	各種まつり・札幌観光協会等への補助
-----------	------------	-------------------

集客交流促進費

・国内観光振興事業費	15,800 千円	首都圏等でのターゲット(一般客・旅行会社)別の観光 PR
・国際観光促進事業費	13,500 千円	東アジア圏や新興市場に対する観光 PR 等
・おもてなし推進事業費	34,180 千円	おもてなしタクシードライバー・観光事業等
・広域連携による観光振興事業費	13,210 千円	着地型旅行商品の造成支援事業等
・観光活性化基礎調査費	6,600 千円	観光客満足度調査等
・観光マップ制作費	7,050 千円	観光マップの制作費
・観光PR用映像制作費	5,000 千円	映像撮影及びDVD制作費
・シティ・リゾートウェーディング推進事業費	6,000 千円	札幌シティ・リゾートウェーディング連絡会への補助金等
・観光振興プラン策定費	5,900 千円	観光振興プランの策定費
・外国人受入体制強化事業費	52,320 千円	異文化理解促進事業・実証実験事業等
・緊急国内観光プロモーション事業費	17,900 千円	道内外を対象としたプロモーション活動
・雪まつり緊急プロモーション事業費	7,600 千円	東京デックス・ニーリゾートでの PR 活動等
・緊急海外プロモーション事業費	3,000 千円	映像制作及びプロモーション活動

都市魅力向上費

・雪まつり大通会場雪像制作費	52,470 千円	大通会場大雪像制作等
・雪まつり魅力アップ事業費	104,400 千円	つどいむ会場管理運営・イベントの充実
・大通公園スケーティングスクエア事業費	12,500 千円	スケートリンク設置・運営負担金
・オータムフェスト事業費	30,000 千円	オータムフェスト運営負担金
・ライラックまつり魅力アップ事業費	2,500 千円	ライラック音楽祭管理運営
・藻岩山魅力アップ事業費	430,838 千円	藻岩山施設整備事業費等
・定山渓観光客誘致関連事業費	3,000 千円	来客誘致促進事業に対する補助金
・菊まつり魅力アップ事業費	1,400 千円	菊まつり魅力アップ補助金
・中国戦略ネットワーク事業費	2,410 千円	情報収集及び観光客誘致の推進

コンベンション推進費

・コンベンションビューロー運営費補助金	42,410 千円	コンベンション誘致活動及び国際ブロードへの補助
・コンベンション誘致促進補助金	10,000 千円	コンベンション誘致促進のための開催費補助
・M I C E 推進事業費	10,660 千円	MICE 推進事業への補助等

4 トピックス

○東日本大震災の影響を踏まえた対策

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災の影響により本市の観光関連産業は大きな打撃を受けました。震災後の 4 月の市内宿泊施設延べ宿泊数は、対前年比 19.3% の減になり、特に外国人客は 92.5% という大幅な減となりました。

観光客数の早期回復を図るため、本市では旅行意欲喚起への取り組みを進めています。その際、来札観光客の半数以上を占める北海道民向けの取り組みを最優先に行いつつ、震災及び福島原発事故の風評被害により激減している海外観光客対策として、安全で元気な札幌の積極的発信を行っています。また、必要な事業費を 5 月の第 2 回臨時市議会及び 6 月の第 2 回定例市議会において議決しています。

国内向けには、ゴールデンウィーク後から夏休み前までの期間、道内の需要を喚起していくために「ようこそさっぽろキャンペーン」を実施しました。このキャンペーンは、市内の宿泊施設や円山動物園と連携してお得な宿泊プランを造成し、旬の観光情報とともに発信するものです。

道外向けには、夏以降の誘客を目的に、節電対策により避暑需要のある首都圏において、涼しい夏の札幌を PR するため、街頭ビジョンで CM 放映を行ったほか、旅行会社や航空会社と連携して、さっぽろ大通ビアガーデンの PR チラシを作成し配布しました。また、関西圏では、まだ知名度の低い「さっぽろオータムフェスト」について、雑誌、街頭ビジョンを活用した PR を行っています。

今後の国内観光客誘致に向けては、東京ディズニーリゾートのイクスピアリでのさっぽろ雪まつりの PR 、全国発売の雑誌誌面における PR や、安定的な来客数の足固めを行うために、改めて北海道民向けに秋から冬にかけての PR を観光関連事業者と連携して実施していく予定です。

海外向けには、6 月に市長による中国の杭州・瀋陽・大連でのトップセールスを行いました。また、札幌の現在の正確な状況を知ってもらうため、「札幌の今の様子」を伝える動画やフォトライブラリー等により、情報発信を行っています。これには、新しい情報ツールであるフェイスブックやユーチューブ、ユーストリームを活用した情報発信も含まれています。

さらに、韓国において、6 月 29 日に Korea MICE EXPO に参加し、観光 PR イベントを行い、平成 22 年度の来日観光客数で 1 位である台湾に対しては、緊急プロモーションとして 8 月に現地で旅行会社と意見交換会を行いました。

他にも、北海道運輸局が中国・韓国・台湾・香港・シンガポールからメディアを招請することから、北海道観光振興機構とも連携を図り協力しながらメディアを受け入れ、札幌の魅力と現在の札幌の様子を伝えてもらうための支援を行っています。

夏の観光シーズンの観光客数は、海外からの観光客はまだ厳しい状態が続いているものの、全体としては回復してきています。今後も観光客数回復のための取り組みを進めています。

○都心の魅力アップ（札幌駅前通地下歩行空間、創成川公園オープン）

地下鉄さっぽろ駅と大通駅を札幌駅前通の地下で結ぶ「札幌駅前通地下歩行空間」が平

成 23 年 3 月 12 日に開通しました。これにより、既存の地下街（アピア、オーロラタウン、ポールタウン）ともつながり、北は J R 札幌駅、南は地下鉄すすきの駅、東は地下鉄バスセンター前駅までの広大な地下ネットワークが誕生しました。

季節や天候に左右されず、お年寄りや車いすの方など誰もが安全・快適に移動できるようになり、さらに、札幌駅周辺地区と大通・すすきの地区が地下でつながることで、より気軽に都心全体のまちめぐりを楽しむことができるようになりました。

また、中央部の幅 12m の歩行空間の両側は「札幌駅前通地下広場」となっており、大型ビジョンを設置した広場や、イスやテーブルを設けた休憩スペースもあります。様々なイベントや P R ・ 物販の場として使われたり、沿道ビルの地下の店舗と直接接続していたりと、単に通過するだけではない、人々が憩い楽しめる空間となっています。

この空間を活用して、「サッポロ・シティ・ジャズ」のライブが開催されたほか、8 月 1 日から 19 日までビアガーデンならぬハイボールガーデンも行われました。また、北海道内各地の特産品の販売や観光 PR イベントが行われるなどしております、多くの人々でにぎわっています。



また、創成川公園が平成 23 年 4 月 1 日にオープンしました。公園整備は道路整備と併せて行われたもので、一足先に地下部分の創成トンネル（アンダーパス）が平成 21 年 3 月 24 日に開通し、北 3 条～南 5 条間が一気に通り抜けられるようになっていましたが、平成 22 年度までに行われた地上部の道路整備により、都心部の混雑が緩和し安全性が確保されました。

創成川公園は、8 車線（片側 4 車線）あった創成川通のうち 4 車線がアンダーパスになったことで生まれた地上部の空間を活用して整備されました。公園の真ん中には江戸時代に作られ札幌開拓のための運河として利用された創成川が流れ、周りには様々な樹々や花が植えられ、明治時代に架けられ創成川の語源となったといわれる創成橋を中心とする開拓の広場には、歴史を感じさせる様々なものが配置されています。また、団塚栄喜・西野康造・安田侃の芸術作品計 18 作品が各所に点在するなど、水と緑と歴史と芸術を感じることのできる都心のオアシスのような空間となるとともに、狸小路と二条市場の間にある狸二条広場では夏にビアガーデンが開催されるなど、新たなにぎわいが生まれています。

さらに、広い創成川通が横断しやすくなつたことで、東西の行き来がしやすくなりました。二条市場などのある最近人気の創成川東エリアと大通・狸小路・すすきのを気軽に行き来することができるようになり、札幌駅前通地下歩行空間の開通と併せて、都心全体のまちめぐりがますます気軽に楽しめるようになりました。

○ M I C E 推進事業について

従来の「コンベンション」（国際会議）に加え、企業の会議、報奨旅行、イベント・展示会などを総称した新しい枠組み「M I C E （マイス=Meeting、Incentive travel、Convention、Event/Exhibition の頭文字）」という概念が国内外で提唱されています。その経済効果や安定した通年需要、世界へ向けた P R 効果の高さなどから、世界各国・都市は、積極的に M I C E 振興を行っています。日本でも観光庁が平成 22 年（2010 年）を「J a p a n M I C E Y e a r」と定め、本格的な取り組みを開始しました。そのような状況の下、札幌市では戦略的に M I C E 事業に取り組むため、公益財団法人札幌国際プラザ

や地元のMICE関係者と議論を重ね、平成22年（2010年）11月に「札幌MICE戦略」を策定いたしました。

「札幌MICE総合戦略」では、景気変動に左右されやすい集客構造をより安定的なものとするMICEを観光と両輪をなす重要な施策として位置付け、集客閑散期に観光客受入数を増加させる効果的な誘致や札幌MICEの特徴である「官民共同でのおもてなし」を活用した受入基盤の整備や開催支援を推奨し、中国市場へのマーケティング強化、姉妹都市である韓国大田広域市のコンベンションビューローとの共同によるMICE推進など、具体的な施策が提示されています。

MICEは経済効果のみならず、学会や文化イベント等の開催により学術・文化・芸術といった幅広い側面から市民の創造性を刺激することから、創造都市づくりの基盤であり、またシティプロモートを構成する重要な要素と考えられます。札幌市は、昭和25年（1950年）に始まった「さっぽろ雪まつり」を集客力の高いイベントに育て上げ、昭和47年（1972年）に冬季オリンピックを開催して国際的な地名度を飛躍的に向上させるなど、早くから大規模会議や国際大会の誘致・受入に取り組んでまいりました。このような経験やノウハウを活かしつつ、今後は「MICE都市札幌」という独自の地位の確立を目指し、戦略的・創造的なMICEの推進に取り組んでいきます。

○藻岩山リニューアルオープン（平成23年12月を予定）

札幌を一望できる藻岩山は都心からも近く、昼夜を問わないその眺望の美しさで多くの観光客や市民に親しまれており、天然記念物に指定されているほどの豊かな自然にも恵まれています。

しかし、ロープウェイ、展望台などといった藻岩山における各施設は、建設から40年近くが経過し老朽化が顕著となっていたため、これまで、有識者、公募市民などから構成される懇談会、シンポジウム、フォーラム等を通じ、藻岩山の今後のあり方、グランドデザインや魅力アップの方向性などについて検討を行いました。それらを基に平成19年度に策定した「藻岩山魅力アップ構想」は、今後の藻岩山のあるべき姿・方向性とともに、藻岩山で想定される施設の改修や求められる機能などを示しています。

この構想に基づき平成22年度から藻岩山の再整備を進めていますが、藻岩山は豊かな自然を有しており、この恵まれた資源を市民や観光客、子どもから高齢者に至るまで誰もが感じられるように行うもので、環境の保全とバリアフリーを2つの大きなテーマとしています。山麓から山頂に行くためには急な坂道や階段を経なければなりませんでしたが、ロープウェイ山麓駅舎前の車寄せや、ロープウェイ中腹駅から山頂展望台に至るミニケーブルカーの新設などにより解消しますし、市電「ロープウェイ入口」電停のそばとロープウェイ山麓駅を結ぶシャトルバスも運行されます。また、環境配慮の観点から山頂への車両の乗り入れはできないこととし、ロープウェイ中腹駅前に駐車場を新設し、山頂展望台までは、ミニケーブルカーに乗るか、新たに整備される自然学習歩道を歩いて登ることとなります。（冬は雪上車も運行します。）

さらに、ロープウェイ中腹駅には札幌・北海道のお土産などが購入できる売店、山頂展望台にはレストランやプラネタリウム、札幌を紹介する3D映像を見られるスペースなどが作られる予定です。

現在、ロープウェイ、展望台、観光道路は閉鎖していますが（登山道は現在も利用可能です）、平成23年12月にリニューアルオープンする予定です。（観光道路は、冬期間はスキー場として利用されるため、平成24年4月にオープンする予定です。）

第2章 観光客の入り込み状況

1 平成22年度の動向

(1) 概況

- 平成22年度に札幌を訪れた観光客は1,260万5千人（前年度比3.1%減）。

主な特徴は以下のとおり

- 月別入り込み状況を前年度と比較すると、7月までは前年度よりプラスで推移していたが、8月以降は前年度よりマイナスで推移した。特に3月は東日本大震災の影響で、対前年比11.8%減と大きく減少した。
- 交通機関別入り込み状況を前年度と比較すると、乗用車による入り込みが1.8%、路線バスによる入り込みが0.6%増加している一方で、貸切バスによる入り込みが17.8%、航空機による入り込みが10.0%、JRによる入り込みが0.1%、それぞれ減少した。
- 日帰り客・宿泊客別に見ると、構成割合はほぼ前年と同じだが、前年度と比較すると、日帰り客は3.0%、宿泊客は3.3%の減少となった。
- 道内客・道外客別に見ると、道外客が減少し、道内客は58.0%、道外客は42.0%という構成割合となった。

(2) 減少の要因など

- 東日本大震災の影響のほか景気回復の遅れ。
- 貸切バスの観光客数減少は、団体旅行から個人旅行へのシフトが進んでいるためと考えられる。

<来札観光客数の算出方法>

札幌市の観光客入り込み数は、交通機関の輸送実績を基に算出しています。具体的には、航空会社、鉄道、路線バス、貸切バスの輸送実績及び国道、高速道路の自動車通行台数に、「観光客率」（平成15～16年度にかけて行った「集客交流入り込み動態調査」により算出した交通機関の利用者数に占める観光客の割合）を乗じて算出しています。

なお、各数字は四捨五入のため合計が一致しないことがあります。

2 観光客の入り込み状況

(1) 来札観光客数の推移

年 度	観光客数 (千人)	前年度比 (%)
平成 8 (1996) 年度	13,054	102.8
9 (1997) 年度	13,106	100.4
10 (1998) 年度	13,081	99.8
11 (1999) 年度	13,304	101.7
12 (2000) 年度	13,050	98.1
13 (2001) 年度	13,280	101.8
14 (2002) 年度	13,251	99.8
15 (2003) 年度	13,683	103.3
16 (2004) 年度	13,302	97.2
17 (2005) 年度	13,323	100.2
18 (2006) 年度	14,104	105.9
19 (2007) 年度	13,781	97.7
20 (2008) 年度	12,995	94.3
21 (2009) 年度	13,014	100.1
22 (2010) 年度	12,605	96.9

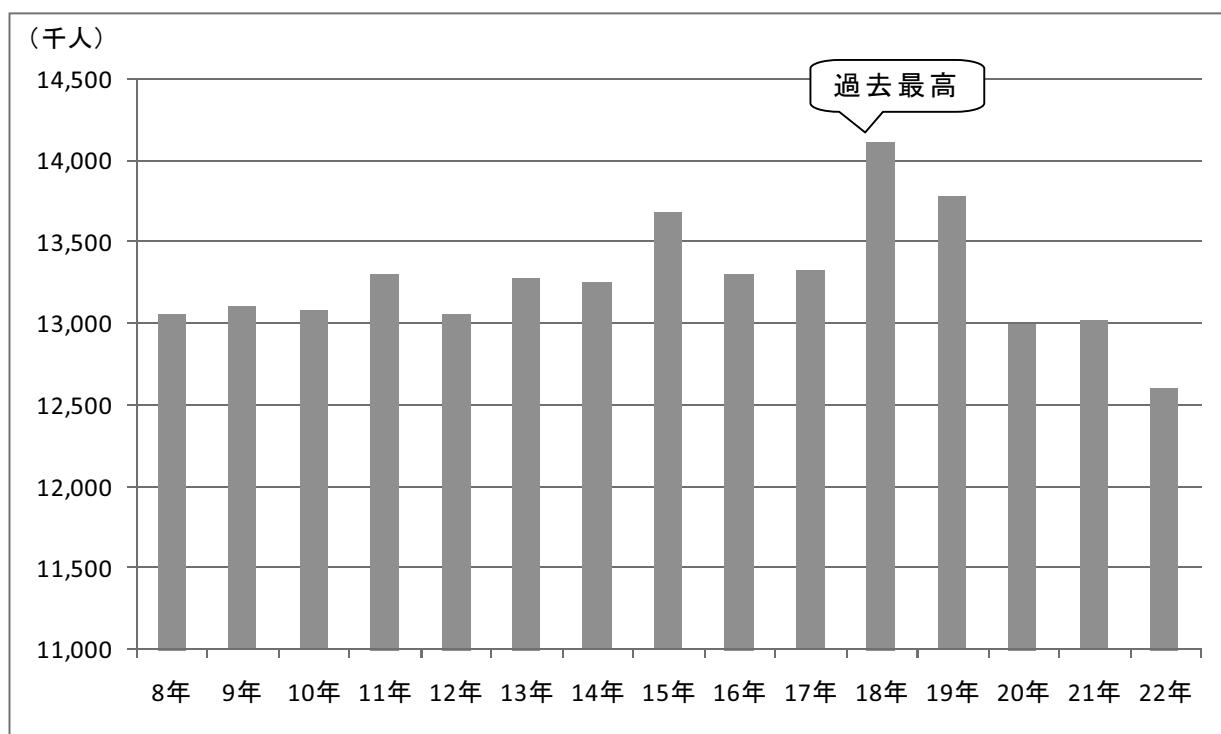


図 2-1 来札観光客数の推移

(2) 月別入り込み状況

(単位：千人)

年度	年度計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
18年度	14,104	968	1,204	1,324	1,479	1,517	1,431	1,334	1,118	951	879	932	967
19年度	13,781	919	1,154	1,310	1,452	1,460	1,390	1,327	1,098	918	878	928	947
20年度	12,995	933	1,134	1,260	1,393	1,404	1,337	1,199	1,014	829	812	826	854
21年度	13,014	879	1,084	1,205	1,409	1,456	1,402	1,224	1,013	825	803	861	853
22年度	12,605	885	1,103	1,226	1,410	1,427	1,338	1,168	968	787	739	802	752
前年度比 (%)		96.9	100.7	101.8	101.7	100.1	98.0	95.4	95.6	95.4	92.0	93.1	88.2

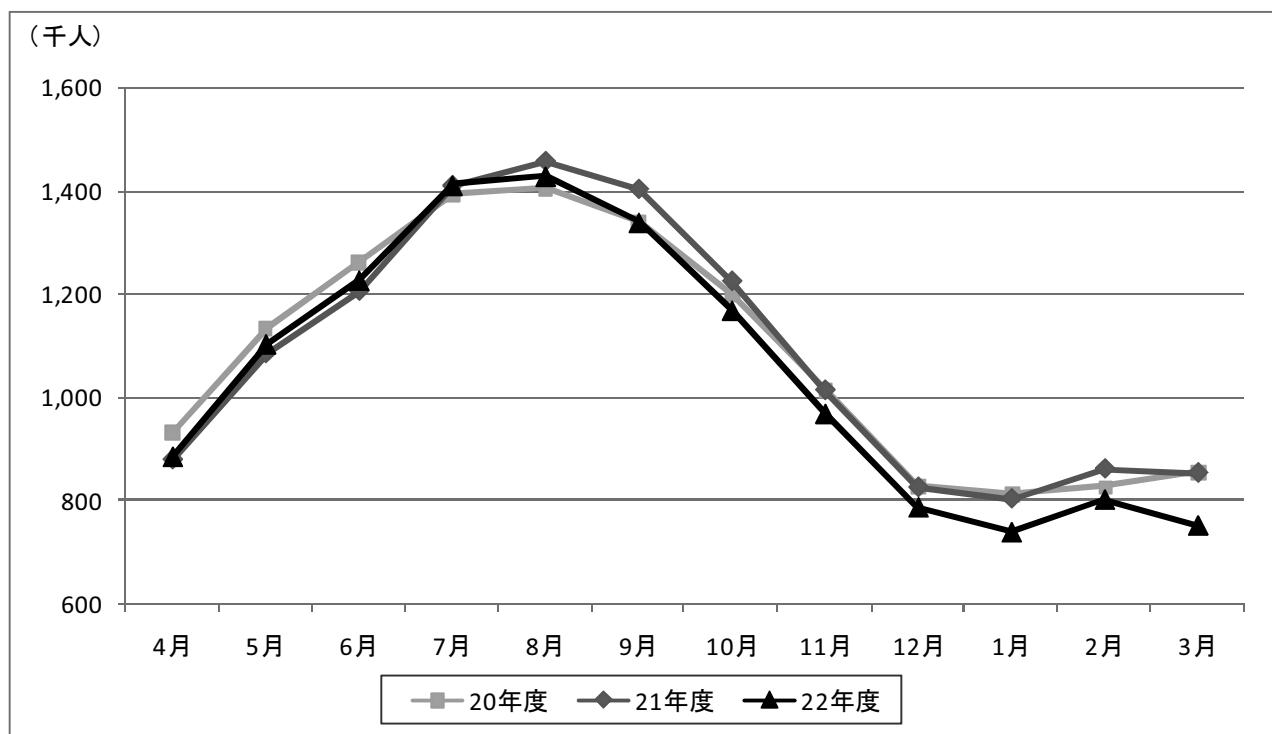


図 2-2 月別入り込み数推移

(3) 交通機関別入り込み状況

年 度	合 計	乗用車	J R	航空機	貸切バス	路線バス
観光客数 (千人)						
18 年度	14,104	6,735	2,870	102	3,304	1,093
19 年度	13,781	6,735	2,844	97	3,081	1,024
20 年度	12,995	6,147	2,801	95	2,926	1,026
21 年度	13,014	6,330	2,743	90	2,894	957
22 年度	12,605	6,444	2,739	81	2,378	963
構 成 比 (%)						
18 年度	100.0	47.8	20.3	0.7	23.4	7.8
19 年度	100.0	48.9	20.6	0.7	22.4	7.4
20 年度	100.0	47.3	21.6	0.7	22.5	7.9
21 年度	100.0	48.6	21.1	0.7	22.2	7.4
22 年度	100.0	51.1	21.7	0.6	18.9	7.6
前 年 度 比 (%)						
18 年度	105.9	101.9	100.5	105.2	116.3	118.7
19 年度	97.7	100.0	99.1	95.1	93.3	93.7
20 年度	94.3	91.3	98.5	97.9	95.0	100.2
21 年度	100.1	103.0	97.9	94.7	98.9	93.3
22 年度	96.9	101.8	99.9	90.0	82.2	100.6

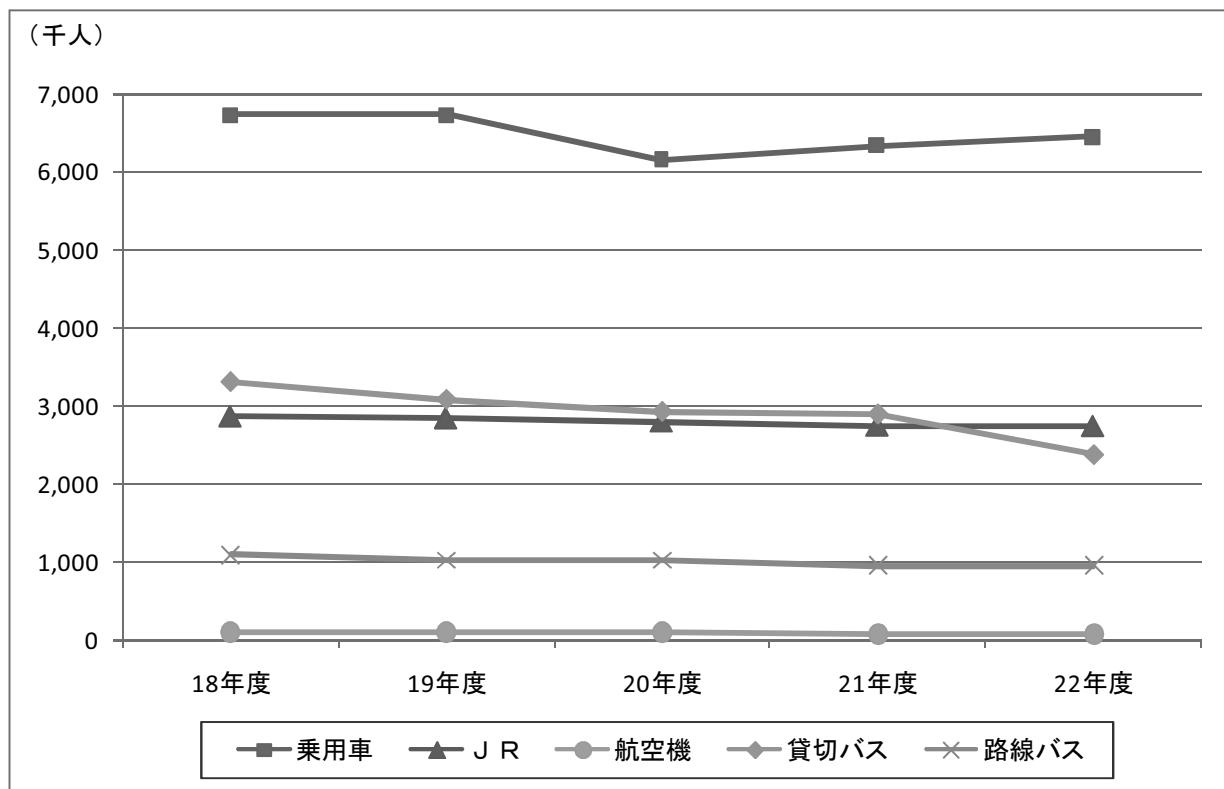


図 2-3 交通機関別入り込み数推移

【交通機関別入り込み数・月別内訳】

(単位：千人)

月	合計	乗用車	J R	航空機	貸切バス	路線バス
平成 22 年 4 月	885	496.2	161.0	9.2	118.9	99.8
	5 月	1,103	573.8	170.6	242.1	105.4
	6 月	1,226	577.2	219.5	330.3	89.6
	7 月	1,410	701.1	294.5	5.3	328.6
	8 月	1,427	763.8	310.4	5.5	260.5
	9 月	1,338	665.9	267.9	6.7	317.0
	10 月	1,168	660.9	231.8	7.1	190.2
	11 月	968	560.9	222.3	6.0	103.3
	12 月	787	389.2	220.4	5.5	102.5
	年度計	12,605	6,444	2,739	81	2,378
<hr/>						
平成 23 年 1 月						
2 月	802	334.7	213.2	5.6	184.4	63.7
3 月	752	386.1	216.5	4.6	76.9	68.0

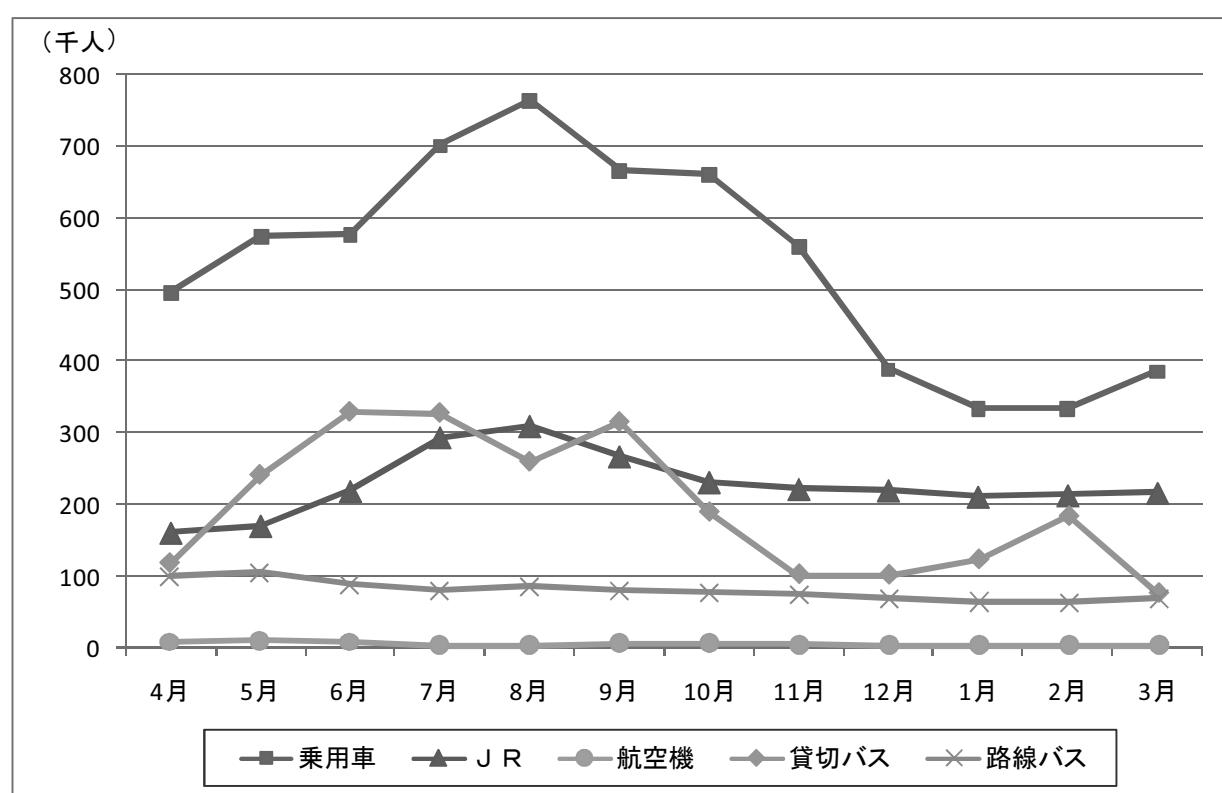


図 2-4 H 22 交通機関別入り込み数月別推移

(4) 日帰り客・宿泊客別入り込み状況

年 度	観光客数（千人）			構 成 比 (%)			前 年 度 比 (%)		
	合 計	日 帰 り 客	宿 泊 客	合 計	日 帰 り 客	宿 泊 客	合 計	日 帰 り 客	宿 泊 客
18年度	14,104	6,986	7,118	100.0	49.5	50.5	105.9	102.1	109.8
19年度	13,781	7,303	6,478	100.0	53.0	47.0	97.7	104.5	91.0
20年度	12,995	6,459	6,536	100.0	49.7	50.3	94.3	88.4	100.9
21年度	13,014	6,630	6,384	100.0	50.9	49.1	100.1	102.6	97.7
22年度	12,605	6,432	6,173	100.0	51.0	49.0	96.9	97.0	96.7

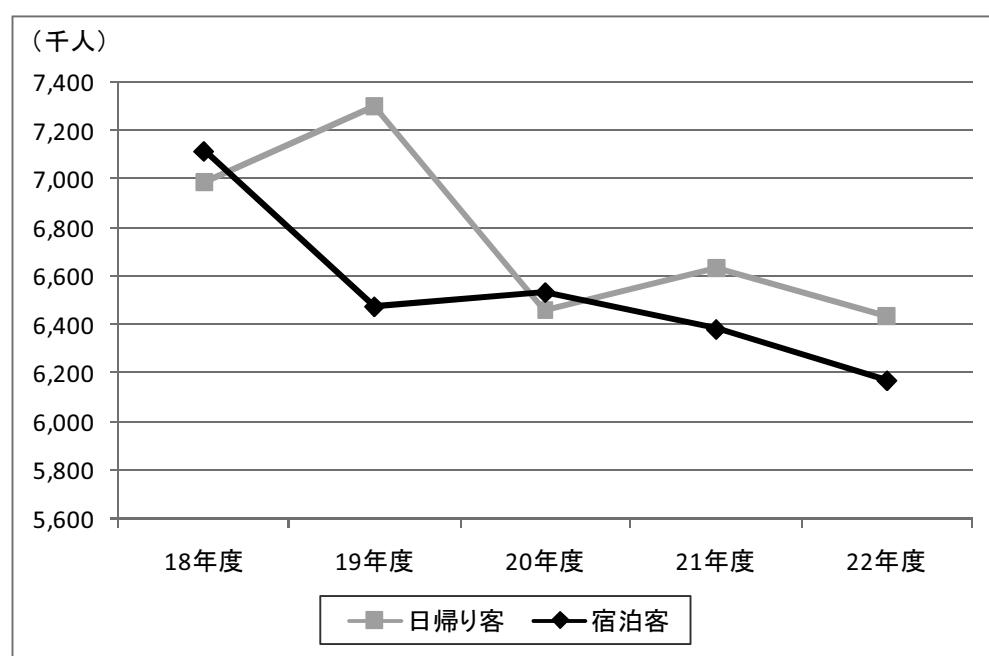


図 2-5 日帰り客・宿泊客別入り込み数推移

【日帰り客・宿泊客別入り込み数・月別内訳】

(単位：千人)

月	合 計	日帰り客	宿泊客
平成 22 年 4 月	885	540.5	344.5
	5 月	1,103	601.4
	6 月	1,226	623.2
	7 月	1,410	699.6
	8 月	1,427	661.7
	9 月	1,338	656.3
	10 月	1,168	638.0
	11 月	968	565.4
	12 月	787	396.2
	平成 23 年 1 月	739	330.3
	2 月	802	317.5
	3 月	752	402.0
年度計	12,605	6,432	6,173

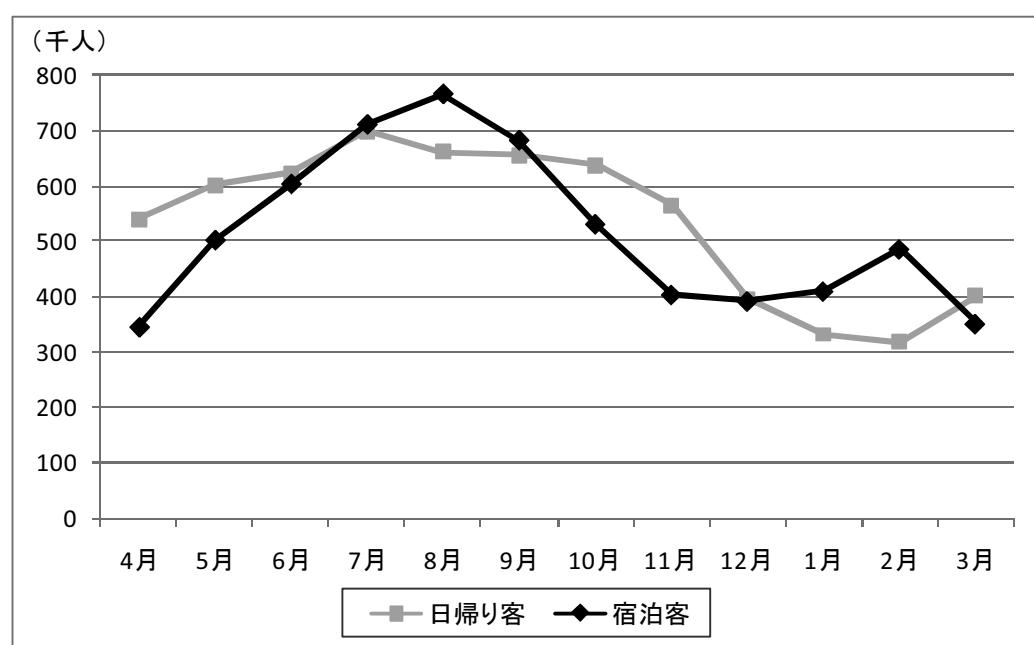


図 2-6 H 22 日帰り客・宿泊客別入り込み数月別推移

(5) 道内客・道外客別入り込み状況

年 度	観光客数(千人)			構 成 比 (%)			前 年 比 (%)		
	合計	道内客	道外客	合計	道内客	道外客	合計	道内客	道外客
18年度	14,104	7,706	6,398	100.0	54.6	45.4	105.9	104.1	108.1
19年度	13,781	7,677	6,104	100.0	55.7	44.3	97.7	99.6	95.4
20年度	12,995	7,280	5,715	100.0	56.0	44.0	94.3	94.8	93.6
21年度	13,014	7,256	5,758	100.0	55.8	44.2	100.1	99.7	100.8
22年度	12,605	7,309	5,296	100.0	58.0	42.0	96.9	100.7	92.0

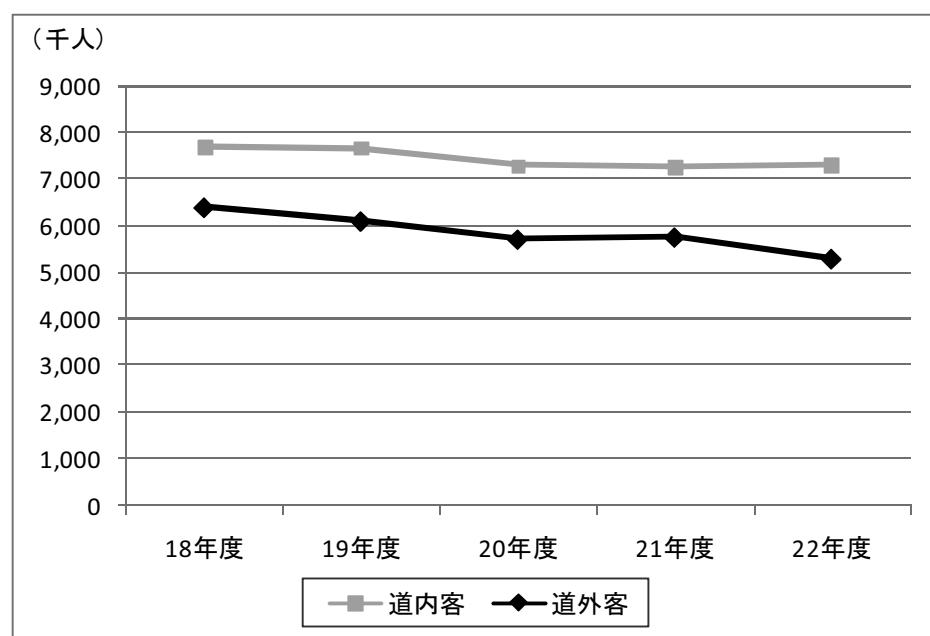


図 2-7 道内客・道外客別入り込み数推移

【道内客・道外客別入り込み数・月別内訳】

(単位：千人)

月	合 計	道内客	道外客
平成 22 年 4 月	885	608.3	276.8
	5 月	725.1	377.6
	6 月	678.2	547.5
	7 月	688.6	721.4
	8 月	711.4	715.7
	9 月	725.1	613.5
	10 月	703.7	464.6
	11 月	600.4	367.3
	12 月	481.5	305.8
	平成 23 年 1 月	446.0	293.3
	2 月	458.8	342.8
	3 月	482.1	270.0
年度計	12,605	7,309	5,296

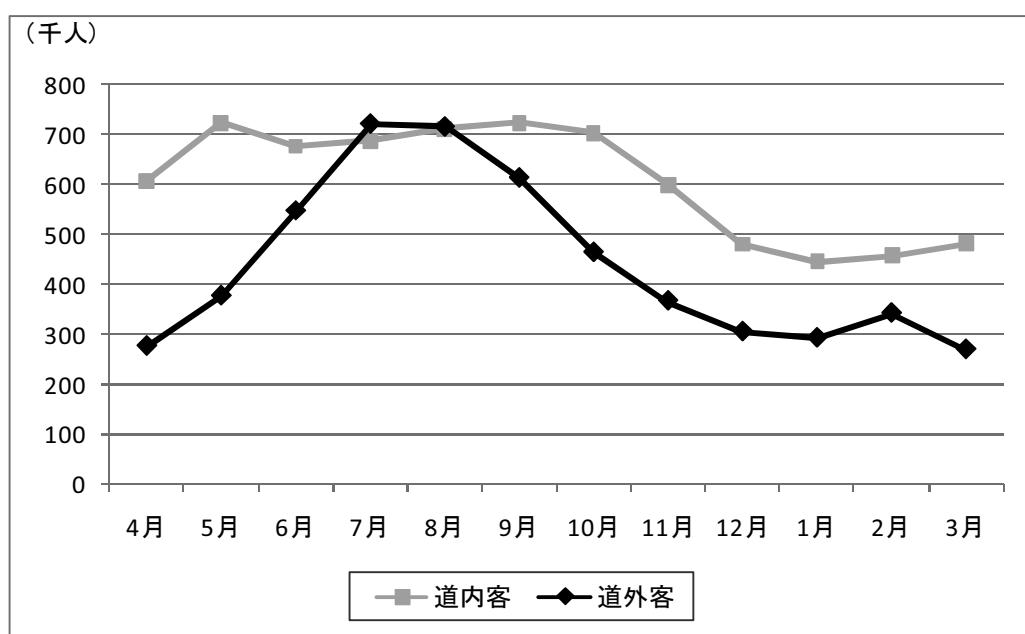


図 2-8 H 22 道内客・道外客別入り込み数月別推移

第3章 宿泊施設

1 宿泊調査の概要

(1) 宿泊施設の定義

すべての宿泊施設は「旅館業法」により法的規制を受けています。本書では「旅館業法」の対象施設のうち、下宿営業の施設、風俗関連営業の施設を除いたものを調査対象とし、以下のとおり分類しています。

ア 構造や設備による分類

- (ア) ホテル 全客室の過半数を洋室が占めている施設（簡易宿所を除く）。
- (イ) 旅館 全客室の過半数を和室が占めている施設（簡易宿所を除く）。
- (ウ) 簡易宿所 カプセルホテル、ユースホステル、ペンション。

イ 運営形態等による分類

- (ア) 政府登録施設 「国際観光ホテル整備法」に基づいて国土交通大臣の登録を受けた宿泊施設。
- (イ) 一般施設 宿泊施設のうち、政府登録施設と公的施設を除いたもの。
- (ウ) 公的施設 公共的性格を有する宿泊施設。国・地方公共団体の出資により管理運営される宿泊施設、および各種組合員（民間企業も含む）用の保養所。

(2) 調査の内容

ア 方法 市内全宿泊施設に調査票を送付し、回答を集計

イ 時期 上期（4月～9月）と下期（10月～翌年3月）の年2回実施

ウ 項目 客室規模、利用者数、外国人の利用状況、修学旅行生の利用状況

2 宿泊施設の状況

(1) 軒数、客室数、定員数の年度別推移

各年度末現在

年度	合計			ホテル			旅館			簡易宿所		
	軒数 (軒)	客室数 (室)	定員数 (人)									
18年度	206	24,977	47,419	132	21,559	34,775	60	2,891	11,283	14	527	1,361
19年度	194	26,025	49,516	130	22,382	36,655	50	2,904	11,412	14	739	1,449
20年度	194	26,107	48,963	132	22,629	36,723	47	2,673	10,605	15	805	1,635
21年度	193	26,321	49,310	129	22,848	37,064	47	2,656	10,659	17	817	1,587
22年度	192	26,737	50,498	130	23,399	38,749	45	2,526	10,175	17	812	1,574

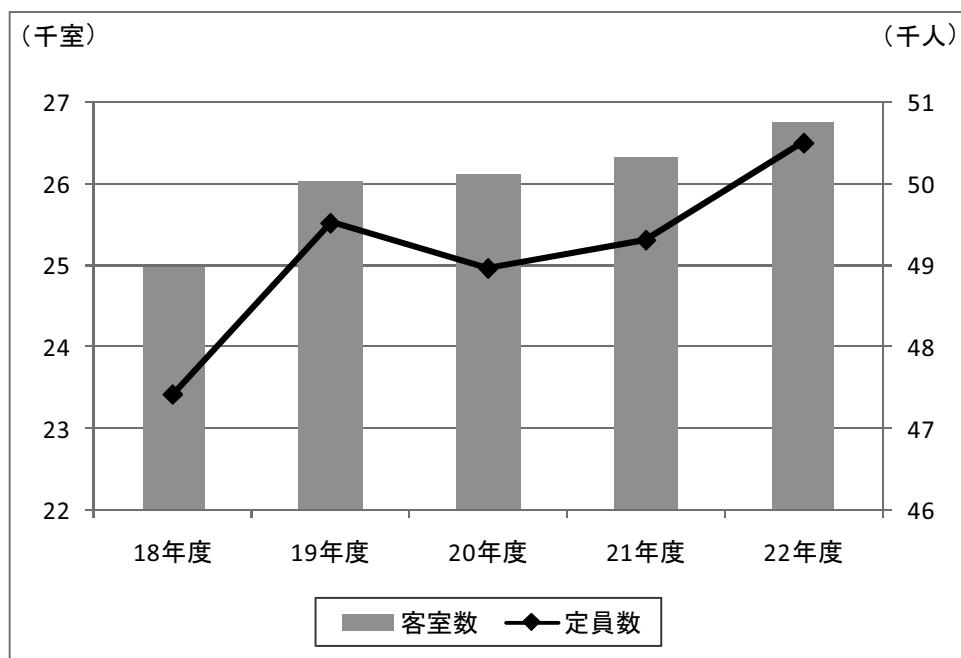


図 3-1 市内宿泊施設の客室数・定員数の推移

3 宿泊施設利用状況

(1) 宿泊施設利用者数の年度別推移

年 度	利用者数 (千人)	前年度比 (%)
18 年度	10,096	104.3%
19 年度	9,242	91.5%
20 年度	9,737	105.4%
21 年度	9,483	97.4%
22 年度	9,374	98.9%

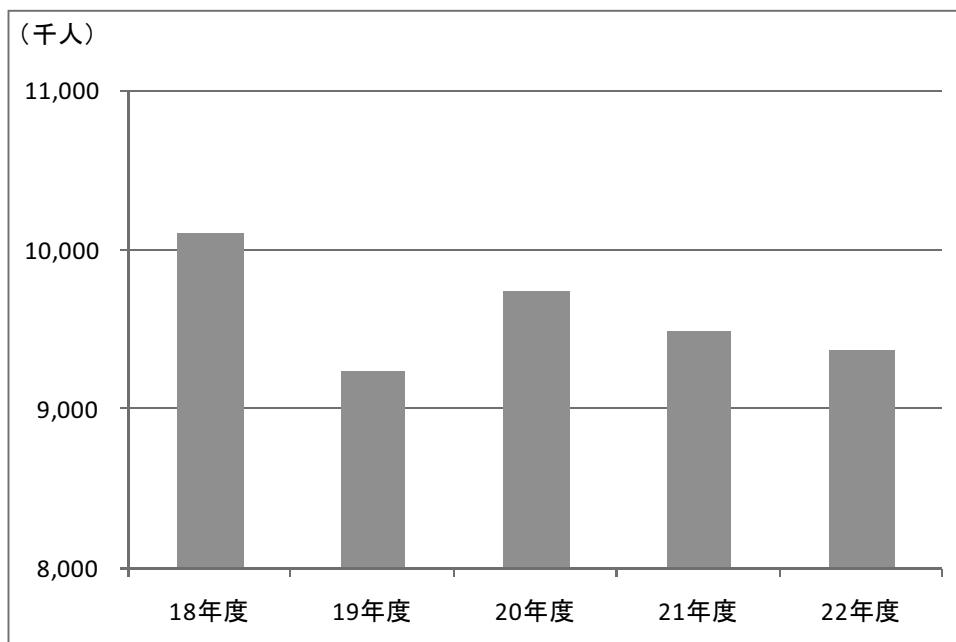


図 3-2 宿泊施設利用者数の推移

ここに掲載する「宿泊施設利用者数」は、市内のホテル・旅館における一般観光客、外国人、修学旅行生、市民利用者等の宿泊者数を調査したものであり、第2章の観光客入り込み数とは一致しません。

また、すべての宿泊施設からは回答が得られないため、回答のあったおよそ8割の宿泊施設の宿泊施設利用者数を宿泊可能定員数で除して求めた定員利用率を、回答のなかった宿泊施設の定員数に乗じて回答のなかった宿泊施設の利用状況を推計し、それぞれを積み上げて算出しています。

$$\text{定員利用率} = \frac{\text{宿泊施設利用者数}}{\text{宿泊可能定員数}}$$

(2) 市内宿泊施設の客室稼働率

(単位 : %)

年度	年度計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
政府登録施設													
18年度	76.8	52.5	69.4	79.0	82.1	84.5	90.3	87.2	72.4	69.5	68.3	90.3	77.9
19年度	77.8	52.3	72.3	82.2	83.5	84.9	87.5	85.4	75.3	76.0	69.1	89.9	75.5
20年度	75.2	56.4	75.5	85.2	87.5	88.0	87.1	83.6	67.8	68.0	61.7	76.1	63.2
21年度	75.5	52.0	72.7	79.9	84.3	85.4	89.1	81.7	70.1	70.6	64.1	87.2	70.3
22年度	71.3	49.2	71.8	80.3	86.6	84.6	90.1	78.4	62.6	64.6	59.8	80.3	50.1
一般施設													
18年度	72.8	53.9	68.8	83.6	89.5	89.6	94.1	78.3	63.2	56.4	53.4	78.0	64.4
19年度	66.6	51.1	64.3	74.5	76.9	80.4	83.7	67.0	60.0	55.6	52.7	75.2	59.7
20年度	66.3	48.0	65.7	77.0	81.6	79.5	80.0	70.9	59.1	56.8	51.3	66.8	57.0
21年度	63.6	46.0	58.1	68.8	74.7	75.4	79.2	64.9	59.7	56.1	52.1	70.9	57.8
22年度	64.0	46.9	59.6	71.2	77.6	76.5	81.1	66.9	57.0	55.7	55.4	72.0	50.7
公的施設													
18年度	71.0	55.9	67.5	86.7	93.4	94.0	91.2	75.8	62.8	49.0	53.4	76.7	62.5
19年度	68.6	50.0	65.7	82.4	85.4	87.7	88.9	69.9	61.9	49.2	52.0	72.2	59.7
20年度	63.7	47.7	63.9	76.0	78.2	80.1	76.6	69.5	57.7	44.0	48.2	62.7	51.6
21年度	58.1	40.1	56.2	66.7	74.2	71.0	73.0	63.6	51.9	42.4	47.0	60.6	49.6
22年度	56.7	36.8	49.9	64.3	70.5	71.9	71.2	64.2	53.6	42.3	47.1	60.4	46.1

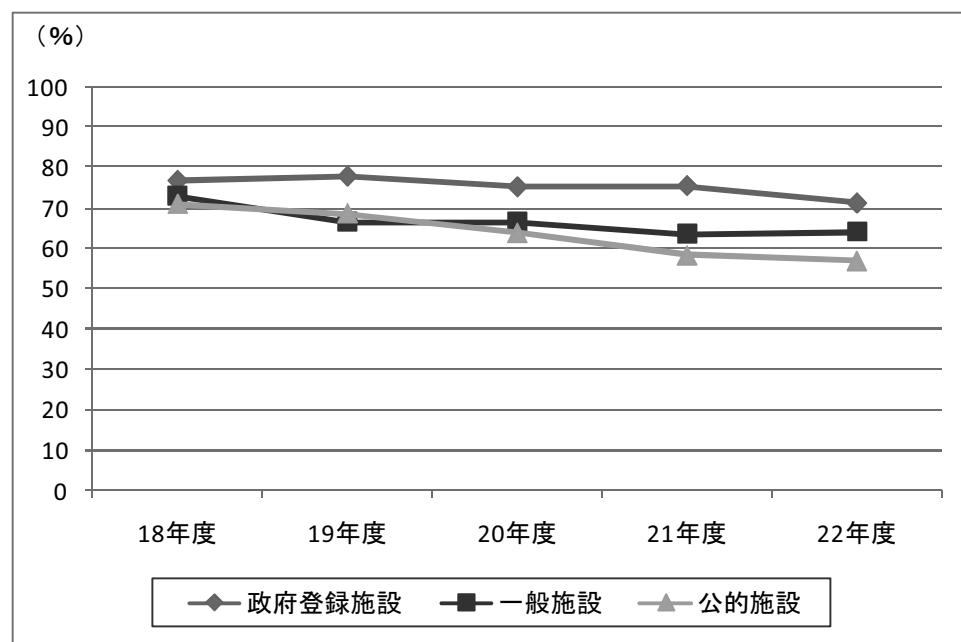


図 3-3 市内宿泊施設の客室稼働率推移

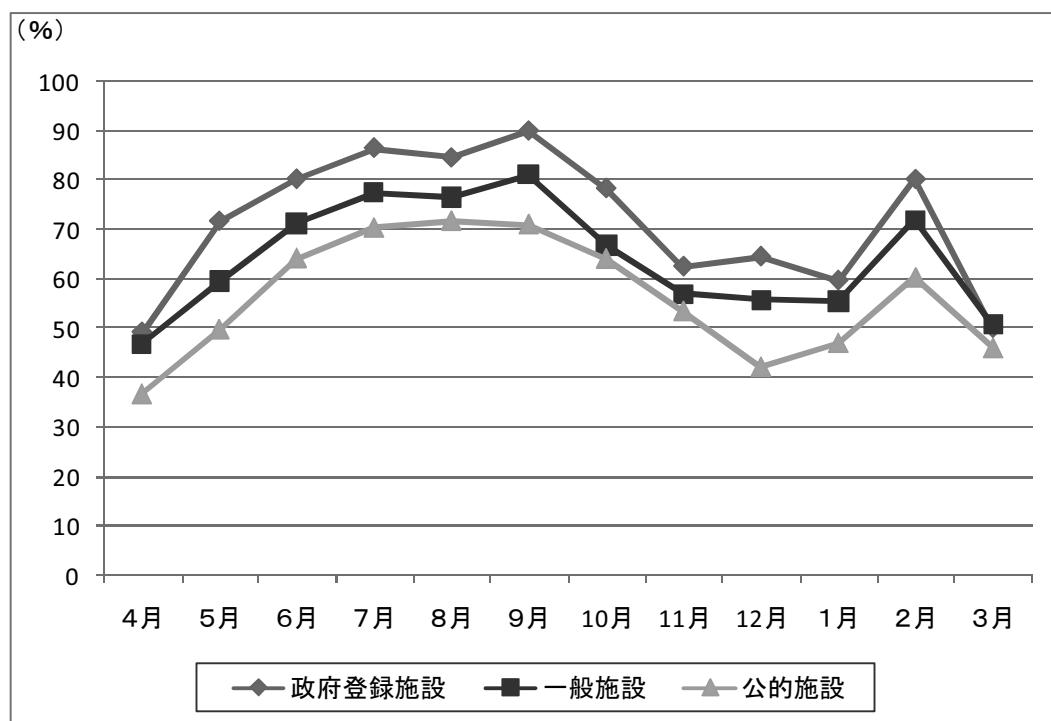


図 3-4 H22 市内宿泊施設の月別客室稼働率

4 外国人の宿泊状況

ここに掲載する外国人宿泊数には、観光以外の目的での利用者も含みます。なお、回答のあった宿泊施設における宿泊施設利用者数に占める外国人の宿泊数の割合は、各宿泊施設によって差が著しく、回答のあった施設のデータから未回答施設の宿泊数を推計することが適当ではないため、およそ8割の回答のあった宿泊施設のみを集計して算出しています。

(1) 外国人の宿泊者数年度別推移

年 度	宿泊実人数 (人)	前年度比	延べ宿泊者数 (人)	平均宿泊 日数 (日)
18年度	501,847	117.0%	559,272	1.11
19年度	659,833	131.5%	752,081	1.14
20年度	659,251	99.9%	766,854	1.16
21年度	501,517	76.1%	649,210	1.29
22年度	620,464	123.7%	797,515	1.29

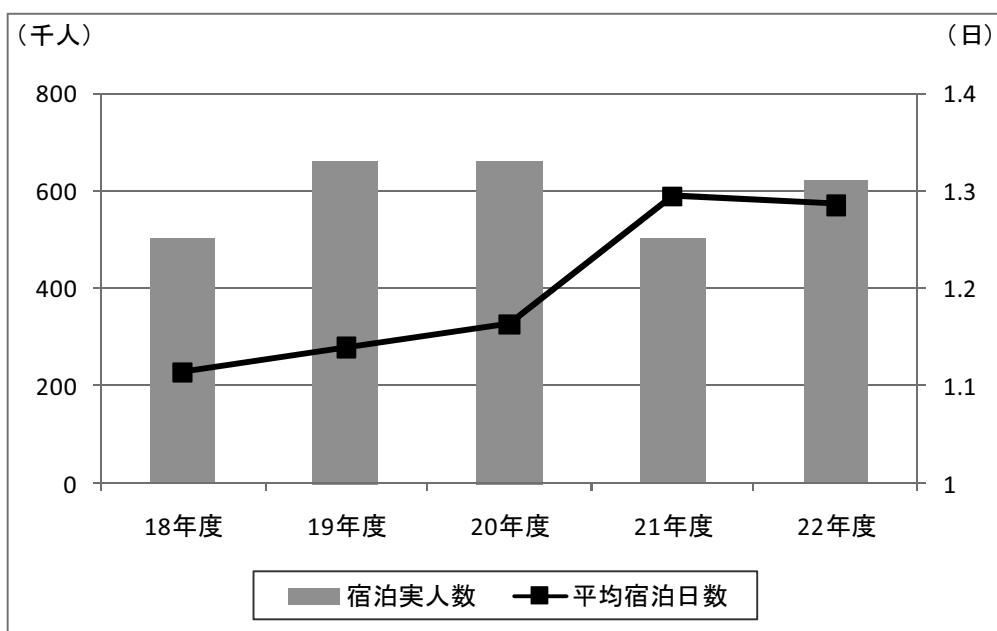


図 3-5 外国人宿泊者数推移

(2) 外国人の宿泊者数月別内訳

(単位：人)

月	外国人宿泊者数 (人)	構成比	前年度比	21年度宿泊者数 (人)
平成 22 年 4 月	32,495	5.2%	127.8%	25,420
	5 月	6.9%	152.2%	28,063
	6 月	8.0%	206.5%	23,941
	7 月	15.7%	179.4%	54,344
	8 月	12.1%	133.4%	56,495
	9 月	7.4%	156.8%	29,225
	10 月	6.8%	101.2%	41,649
	11 月	4.7%	90.3%	32,154
	12 月	10.6%	102.8%	64,058
	平成 23 年 1 月	8.3%	118.7%	43,193
	2 月	11.9%	97.8%	75,453
	3 月	2.4%	54.5%	27,522
年度計	620,464	100.0%	123.7%	501,517

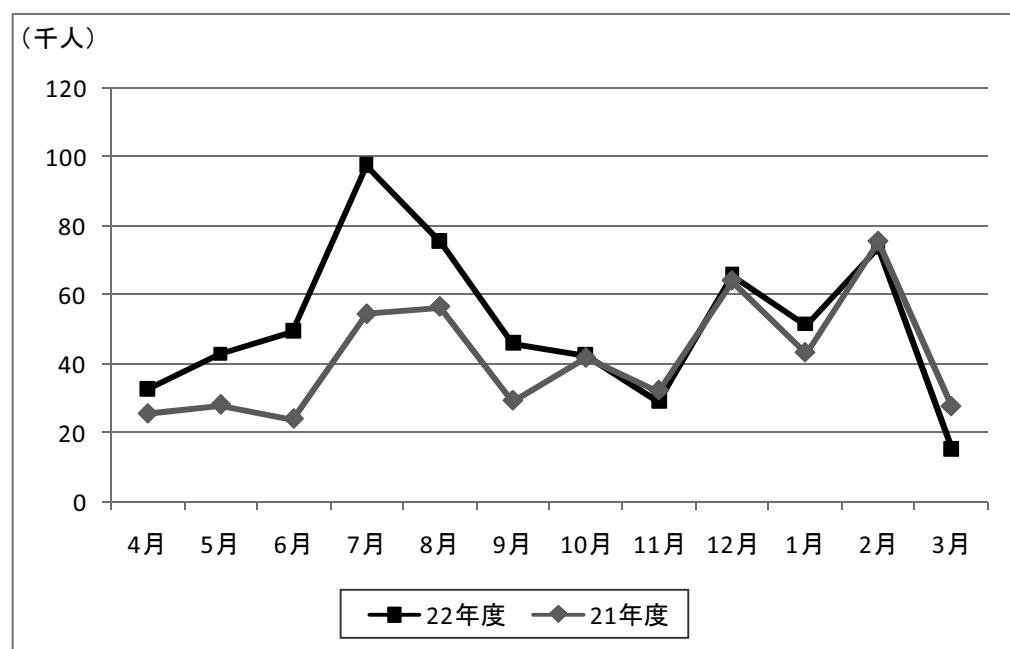


図 3-6 月別外国人宿泊者数推移

(3) 外国人の宿泊者数発地別内訳

区分	宿泊者数 (人)	延べ宿泊者数 (人)	平均 宿泊日数 (日)	構成比	前年度比	21年度 宿泊者数 (人)
合計	620,464	797,515	1.29	100.0%	123.7%	501,517
(州別)						
アジア	563,265	711,908	1.26	90.8%	123.6%	455,885
ヨーロッパ	17,699	28,076	1.59	2.9%	120.7%	14,658
北米	15,775	24,504	1.55	2.5%	103.4%	15,251
オセアニア	8,627	12,205	1.41	1.4%	125.6%	6,869
中南米	966	1,622	1.68	0.2%	147.5%	655
アフリカ	406	558	1.37	0.1%	303.0%	134
不明	13,726	18,642	1.36	2.2%	170.2%	8,065
(国・地域別)						
台湾	135,675	158,766	1.17	21.9%	100.7%	134,776
香港	135,022	187,522	1.39	21.8%	99.8%	135,226
中国	109,395	133,971	1.22	17.6%	151.9%	71,999
韓国	97,304	119,267	1.23	15.7%	178.4%	54,532
シンガポール	45,488	57,992	1.27	7.3%	129.1%	35,243
マレーシア	17,634	21,830	1.24	2.8%	236.4%	7,459
アメリカ合衆国	13,107	20,673	1.58	2.1%	103.0%	12,724
タイ	12,334	17,460	1.42	2.0%	149.9%	8,229
オーストラリア	6,883	9,821	1.43	1.1%	132.6%	5,192
ロシア	5,084	7,831	1.54	0.8%	109.9%	4,625
カナダ	2,668	3,831	1.44	0.4%	105.6%	2,527
イギリス	2,492	3,400	1.36	0.4%	119.2%	2,090
フランス	1,991	2,847	1.43	0.3%	140.8%	1,414
ドイツ	1,726	2,821	1.63	0.3%	106.8%	1,616
フィリピン	681	1,170	1.72	0.1%	146.1%	466
インド (※)	373	671	1.80	0.1%	-	-
中南米	966	1,622	1.68	0.2%	147.5%	655
アフリカ	406	558	1.37	0.1%	303.0%	134
その他	17,509	26,820	1.53	2.8%	120.4%	14,545
不明	13,726	18,642	1.36	2.2%	170.2%	8,065

※インドは22年度より調査

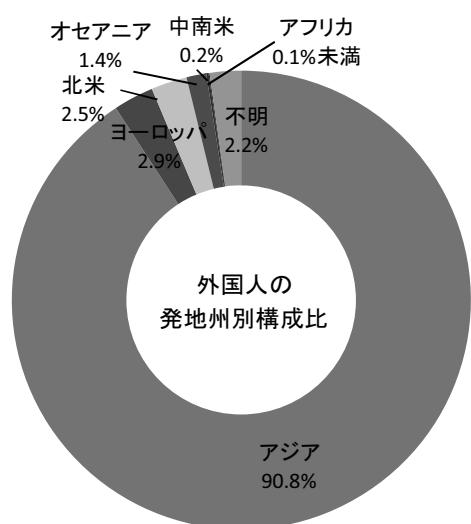


図3-7 外国人宿泊者数構成比（州別）

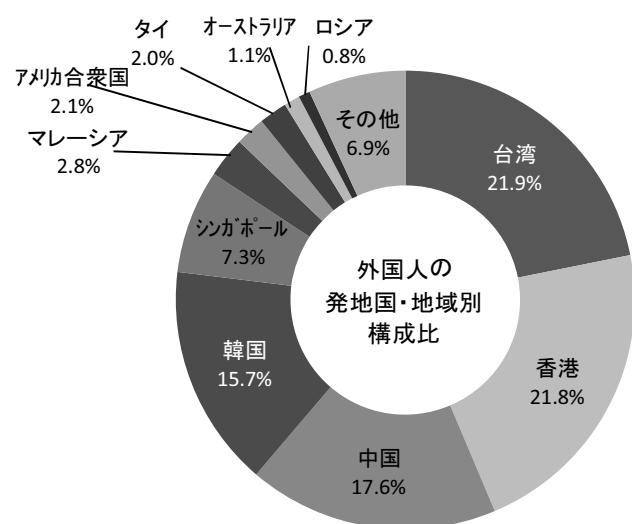


図3-8 外国人宿泊者数構成比（国・地域別）

参考

訪日外客数（観光客）

(単位：人)

区分	訪日外客数（観光客）		
	2010年(平成22年)	構成比	2009年(平成21年)
合計	6,361,974	100.0%	4,759,833
(州別)			
アジア	4,996,418	78.5%	3,445,035
北アメリカ	596,694	9.4%	589,153
ヨーロッパ	529,917	8.3%	502,495
オセアニア	206,028	3.2%	195,177
南アメリカ	24,830	0.4%	20,540
アフリカ	7,599	0.1%	6,922
無国籍・その他	488	0.0%	511
(国・地域別)			
韓国	1,963,002	30.9%	1,153,935
台湾	1,139,339	17.9%	912,982
中国	831,652	13.1%	481,696
香港	473,031	7.4%	418,169
アメリカ合衆国	457,247	7.2%	451,267
オーストラリア	182,420	2.9%	171,579
タイ	165,901	2.6%	135,903
シンガポール	151,580	2.4%	121,493
カナダ	121,900	1.9%	122,215
イギリス	110,995	1.7%	112,958
フランス	99,500	1.6%	94,640
マレーシア	80,308	1.3%	60,356
ドイツ	62,384	1.0%	55,856
インドネシア	53,195	0.8%	41,471
フィリピン	43,298	0.7%	38,107
その他	426,222	6.7%	387,206

※訪日外客数は暦年集計。

※国別外客数は、上位15カ国を抜粋表示。

<資料>日本政府観光局（JNTO）訪日外客統計

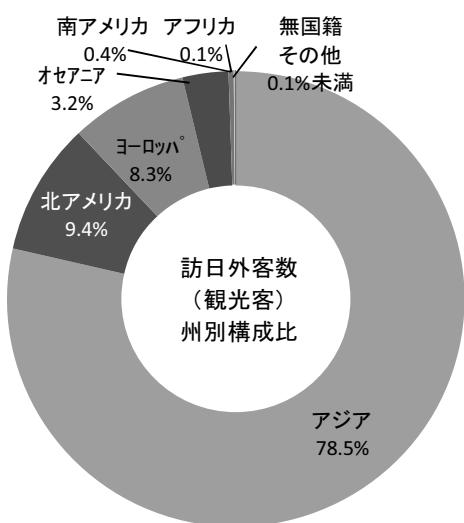


図3-9 訪日外客数構成比（州別）

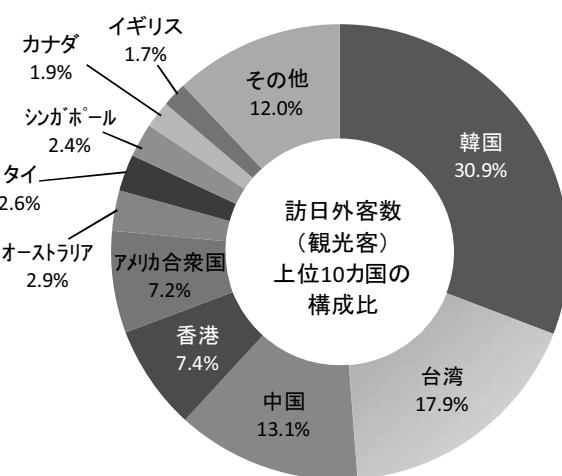


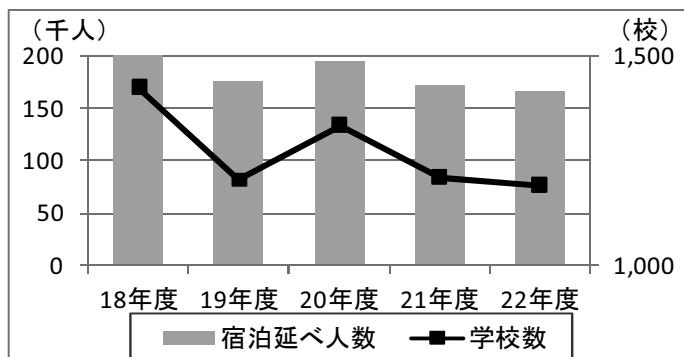
図3-10 訪日外客数構成比（国・地域別）

5 修学旅行生の宿泊状況

回答のあった宿泊施設における宿泊施設利用者数に占める修学旅行生の宿泊数の割合は、各宿泊施設によって差が著しく、回答のあった施設のデータから未回答施設の宿泊数を推計することが適当ではないため、およそ8割の回答のあった宿泊施設のみを集計して算出しています。

(1) 修学旅行生の宿泊数年度別推移

年 度	学 校 数 (校)	宿泊延べ人数 (人)
18 年度	1,424	199,602
19 年度	1,201	174,990
20 年度	1,331	194,813
21 年度	1,208	171,951
22 年度	1,188	164,904



(2) 修学旅行生の宿泊数月別内訳

月	学 校 数 (校)	宿泊延べ人数 (人)	延べ人数 構成比
平成 22 年 4 月	20	1,764	1.1%
	211	20,938	12.7%
	275	34,309	20.8%
	74	6,870	4.2%
	80	5,704	3.5%
	214	24,500	14.9%
	121	22,529	13.7%
	12	2,888	1.8%
	54	12,887	7.8%
	64	20,424	12.4%
	42	9,040	5.5%
	21	3,051	1.9%
年度計	1,188	164,904	100.0%

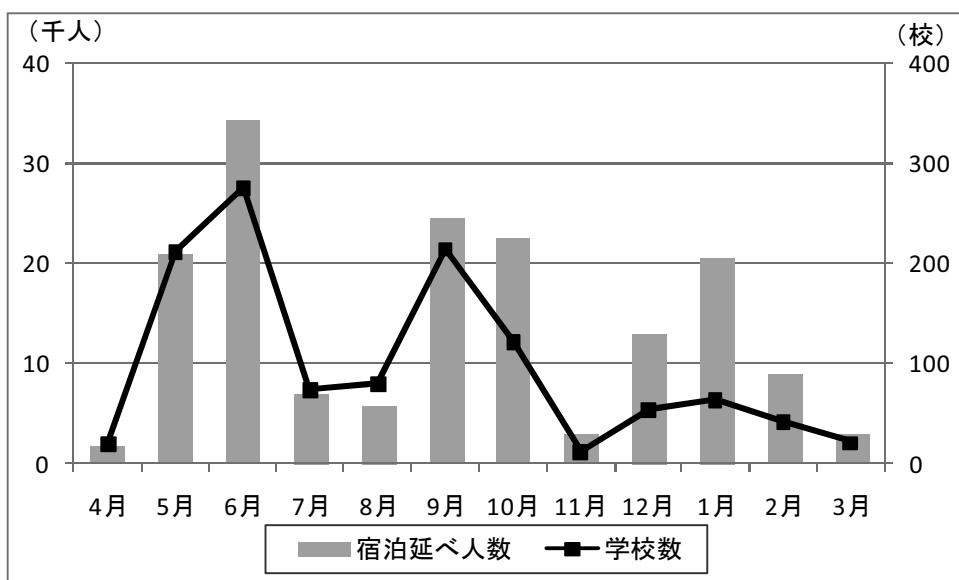


図 3-12 H 22 修学旅行生の宿泊数

(3) 修学旅行生の宿泊数発地別内訳

区分	学校数(校)	宿泊延べ人数(人)	延べ人数構成比	前年度比	前年度宿泊延べ人数(人)
合計	1,188	164,904	100.0%	95.9%	171,951
道内	502	30,590	18.6%	107.5%	28,445
東北	44	4,692	2.8%	66.8%	7,027
関東	127	22,315	13.5%	88.3%	25,281
中部	109	18,800	11.4%	99.8%	18,835
近畿	124	27,375	16.6%	87.8%	31,194
中国	116	20,205	12.3%	103.0%	19,613
四国	90	20,435	12.4%	90.3%	22,624
九州・沖縄	76	20,492	12.4%	108.2%	18,932

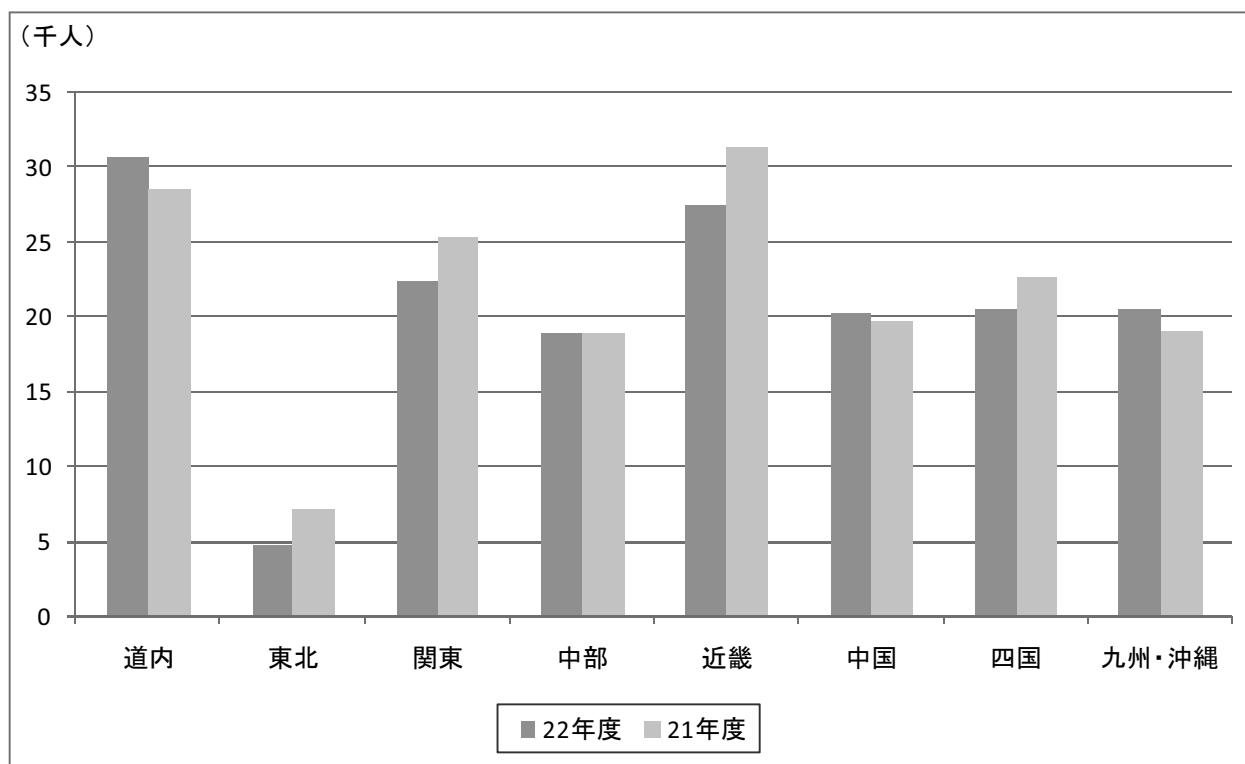


図 3-13 修学旅行生の発地別延べ宿泊者数

6 定山渓地域の宿泊状況

(1) 定山渓地域の宿泊施設軒数、客室数、定員数

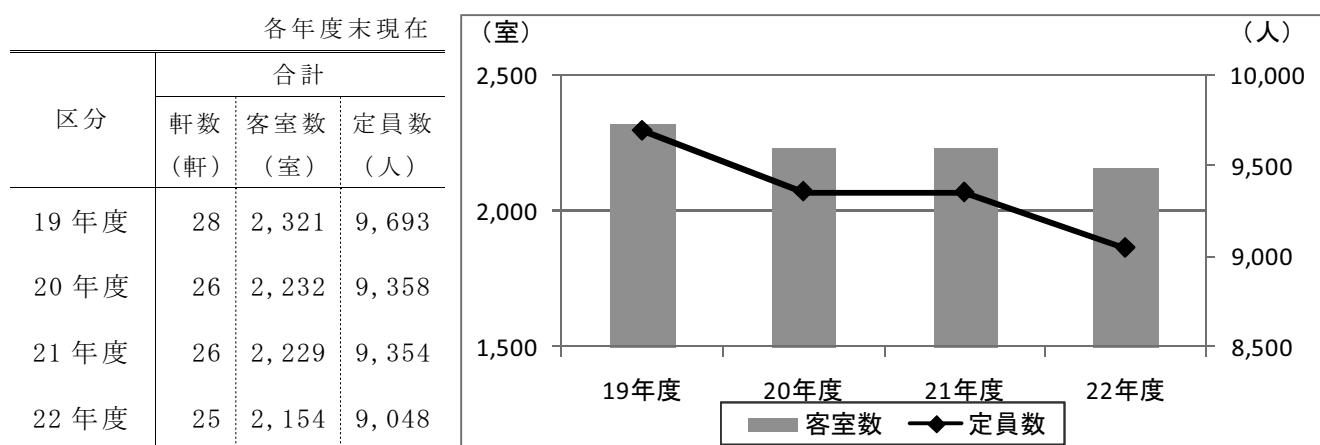


図 3-14 定山渓地域の宿泊施設客室数・定員数の推移

(2) 定山渓地域の宿泊施設利用者数

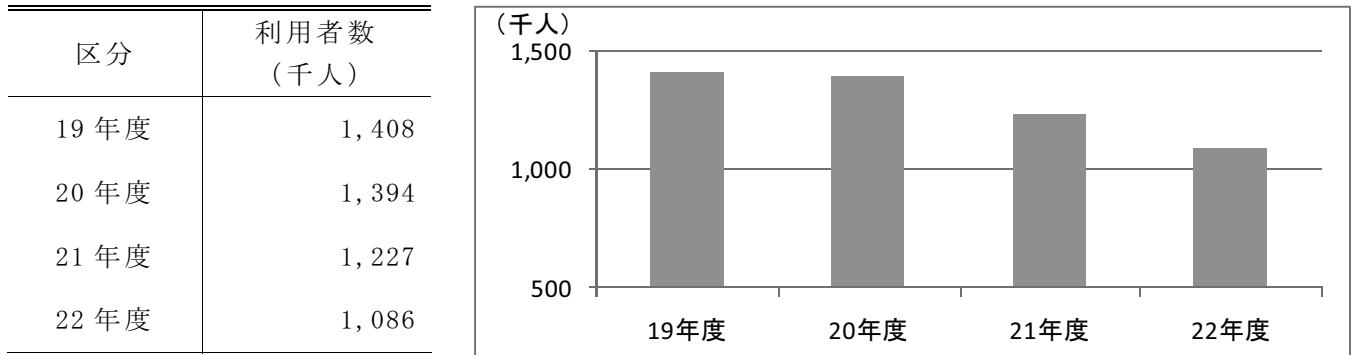


図 3-15 定山渓地域の宿泊施設利用者数の推移

ここに掲載する定山渓地域の「宿泊施設利用者数」は、一般観光客、外国人、修学旅行生、市民利用者等を含む全ての利用者数です。

ただし、全ての宿泊施設からは回答が得られないため、回答のあったおよそ7割の宿泊施設の宿泊施設利用者数を宿泊可能定員数で除して求めた定員利用率を、回答のなかった宿泊施設の定員数に乗じて回答のなかった宿泊施設の利用状況を推計し、それぞれを積み上げて算出しています。

$$\text{定員利用率} = \frac{\text{宿泊施設利用者数}}{\text{宿泊可能定員数}}$$

(3) 定山渓地域宿泊施設の客室稼働率

(単位 : %)

区分	年度計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
政府登録施設	52.7	33.0	41.5	51.9	54.2	70.8	53.1	64.6	52.6	46.9	55.4	56.5	50.0
一般施設	61.6	43.6	57.2	56.2	63.8	75.2	72.4	71.2	71.0	56.7	58.4	56.7	55.7
公的施設	32.6	27.0	30.6	26.0	26.7	29.4	40.1	46.3	37.7	31.9	32.3	30.8	32.3

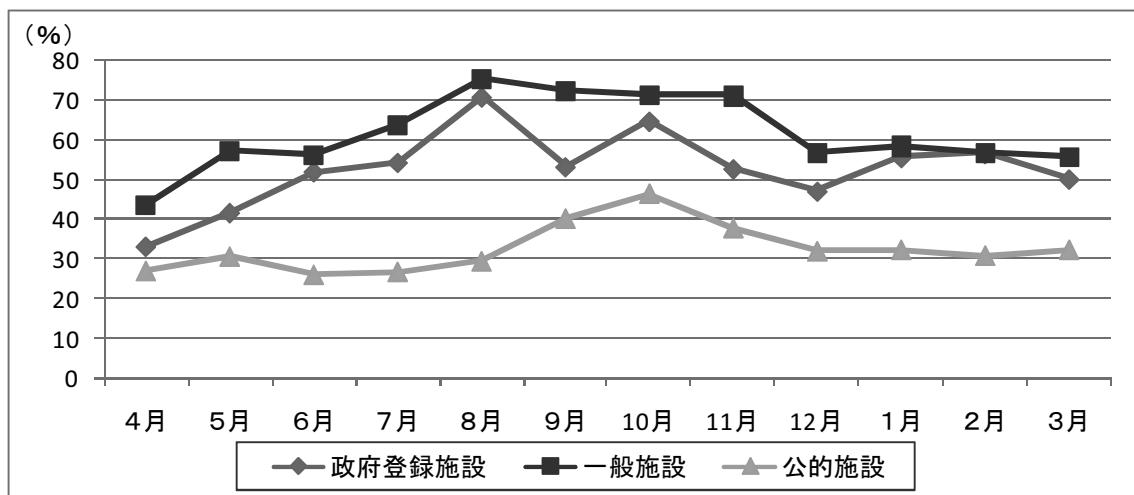


図 3-16 定山渓地域宿泊施設の客室稼働率

(4) 定山渓地域の外国人宿泊者数

ここに掲載する外国人宿泊者数には、観光以外の目的での利用者も含みます。なお、回答のあった宿泊施設における宿泊施設利用者数に占める外国人の宿泊者数の割合は、各宿泊施設によって差が著しく、回答のあった施設のデータから未回答施設の宿泊者数を推計することが適当ではないため、およそ7割の回答のあった宿泊施設のみを集計して算出しています。

月	宿泊者数 (人)	構成比	前年度比	前年度宿泊者数 (人)
平成 22 年 4 月	1,025	2.3%	225.8%	454
5 月	1,197	2.7%	132.7%	902
6 月	3,796	8.5%	300.6%	1,263
7 月	7,936	17.8%	195.5%	4,059
8 月	7,326	16.5%	181.1%	4,045
9 月	2,780	6.2%	152.7%	1,820
10 月	4,075	9.2%	186.2%	2,189
11 月	1,612	3.6%	95.8%	1,682
12 月	5,432	12.2%	187.2%	2,902
平成 23 年 1 月	2,950	6.6%	184.6%	1,598
2 月	5,840	13.1%	114.9%	5,084
3 月	530	1.2%	57.1%	928
年度計	44,499	100.0%	165.3%	26,926

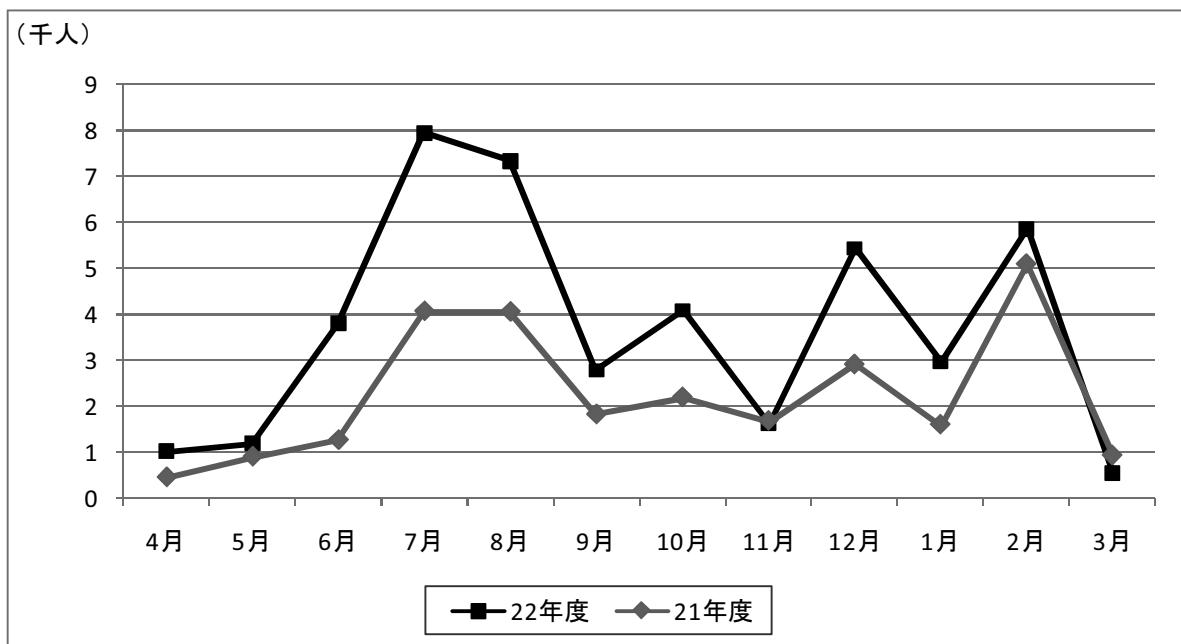


図 3-17 定山渓地域の月別外国人宿泊者数

(5) 定山渓地域の修学旅行生の宿泊状況

回答のあった宿泊施設における宿泊施設利用者数に占める修学旅行生の宿泊数の割合は、各宿泊施設によって差が著しく、回答のあった施設のデータから未回答施設の宿泊数を推計することが適当ではないため、およそ7割の回答のあった宿泊施設のみを集計して算出しています。

月	学校数 (校)	宿泊延べ人数 (人)	延べ人数 構成比
平成 22 年 4 月	1	108	0.4%
	5 月	3,389	12.1%
	6 月	5,916	21.2%
	7 月	1,319	4.7%
	8 月	1,438	5.2%
	9 月	2,927	10.5%
	10 月	1,577	5.7%
	11 月	0	0.0%
	12 月	2,495	8.9%
	平成 23 年 1 月	5,652	20.3%
	2 月	2,794	10.0%
	3 月	284	1.0%
年度計	215	27,899	100.0%

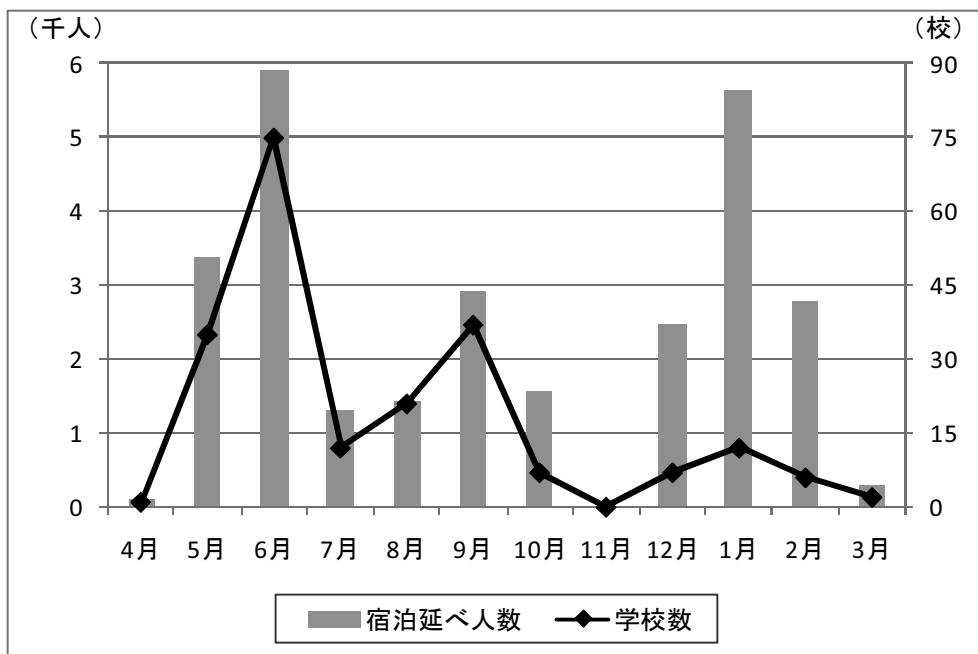


図 3-18 定山溪地域の修学旅行生の月別宿泊数

【定山溪地域の修学旅行生の宿泊数発地別内訳】

発地別	学校数 (校)	宿泊延べ人数 (人)	延べ人数 構成比
合 計	215	27,899	100.0%
道 内	145	8,847	31.7%
東 北	7	1,196	4.3%
関 東	15	3,079	11.0%
中 部	4	692	2.5%
近 畿	24	7,333	26.3%
中 国	6	1,961	7.0%
四 国	1	127	0.5%
九州・沖縄	13	4,664	16.7%

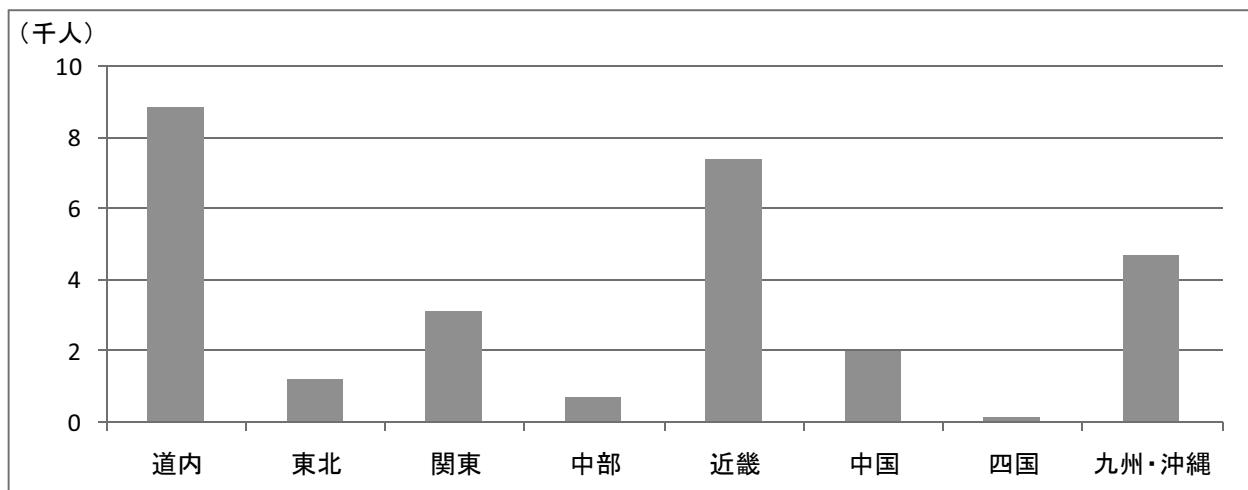


図 3-19 定山溪地域の修学旅行生発地別延べ宿泊者数

第4章 イベントとコンベンション

1 札幌でのイベント開催状況

(1) さっぽろ雪まつり

さっぽろ雪まつりは、昭和25年、市内の中高校生たちが大通公園西7丁目に作った小さな雪像6基からスタートしました。寒く厳しい冬に、わずかの楽しみを求めて集まった市民は5万人を数え、小雪像を囲んでのスクエアダンスや映画会を楽しみました。

回を重ねるごとにその規模は拡大し、第6回から雪像の制作に自衛隊が携わることで、大雪像時代が到来しました。今では国内はもとより世界的に知られる冬の一大イベントになっています。

第62回雪まつりでは、国宝建築物や中国を代表する歴史的建築物、子供たちに人気の恐竜などの大雪氷像が「大通会場」に作られ、幅広い年齢層から関心を集めました。また第2会場の「つどーむ会場」は遊びをテーマとし、チューブスライダーや、北海道ならではの体験をテーマとした竹スキーなど、来場者参加型の雪まつりとして好評を博し、過去最高を記録した前回観客数と同様の240万人台の人出となりました。

(URL) <http://www.snowfes.com/>



【第62回さっぽろ雪まつりの開催概要】

期 間	平成23年2月7日(月)～13日(日) [7日間]	
会 場	大 通 会 場	大通西1～12丁目
	つどーむ会場	札幌市スポーツ交流施設「つどーむ」
	すすきの会場	駅前通(南4～7条)
行 事 等	<ul style="list-style-type: none">開会式(大通西8丁目 2月7日)つどーむ会場オープニングセレモニー(つどーむ 2月7日)国際雪像コンクール 16チーム(大通西11丁目)市民雪像(大通小雪像105基、中雪像3基、つどーむ小雪像8基)スノーオブジェコンテスト(つどーむ 2月7日)ステージイベント(各会場で会期中、多種多彩なイベントを実施)	
雪 氷 像 数	252基(大雪像5基、中雪像7基、大氷像2基、その他小雪氷像)	
雪 輸 送 量	5t トラックで約6,290台(1月7日開始)	

【観客数、雪氷像数の推移(過去10年)】

	第53回 (平成14年)	第54回 (平成15年)	第55回 (平成16年)	第56回 (平成17年)	第57回 (平成18年)	第58回 (平成19年)	第59回 (平成20年)	第60回 (平成21年)	第61回 (平成22年)	第62回 (平成23年)
雪像数(基)	312	308	311	304	338	307	290	286	248	252
観客数 (千人)	2,297	2,233	2,179	2,191	1,985	2,101	2,159	2,080	2,433	2,416

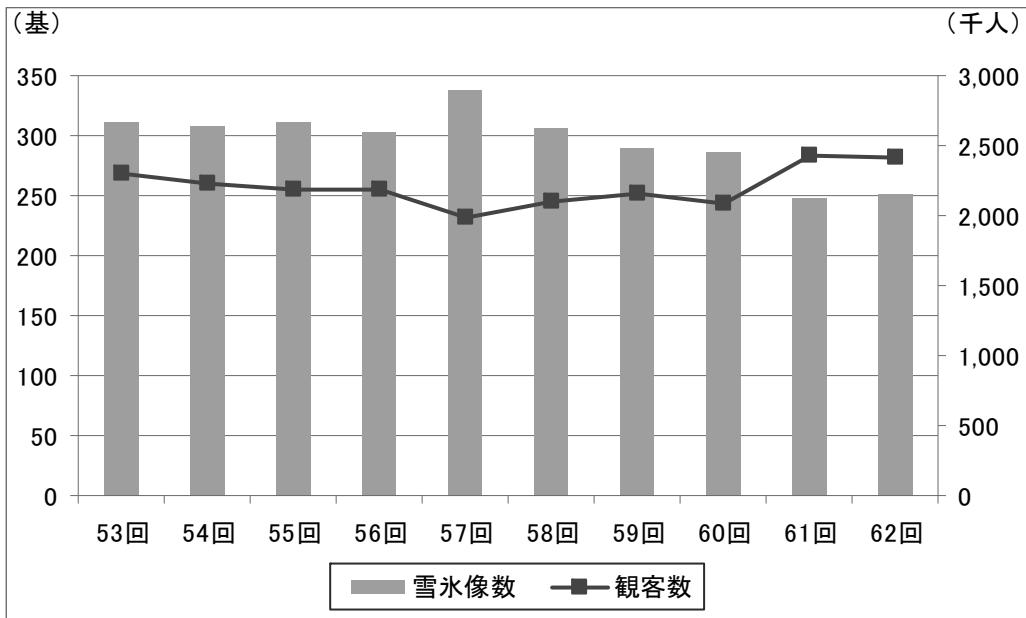


図 4-1 さっぽろ雪まつりの観客数、雪氷像数の推移

(2) YOSAKOI ソーラン祭り

高知の「よさこい祭り」で、南国土佐の若者たちが情熱的に踊り舞うさまを目にした札幌の大学生が、翌年の平成4年、その感動を再現する新イベントを札幌に創り出しました。よさこい踊りとソーラン節という、日本の南と北の風物詩を組み合わせた「YOSAKOI ソーラン祭り」の誕生です。

鳴子（なるこ）を手にし、あでやかな衣装に身を包んだ踊り子チームのそれぞれが、ソーラン節のオリジナルやアレンジ曲に合わせて独自のよさこい踊りを披露し、市内各会場で腕を競い合います。

平成10年開催の第7回から、祭りの急速な規模拡大に対応するため、学生中心の実行委員会に代わって、経済界や本市などが加わり組織委員会が結成され、運営・管理体制の強化が図られました。

平成23年6月の第20回のYOSAKOIソーラン祭りは、東日本大震災で被害にあわれた方々を少しでも支援したいと考え、「東日本大震災復興支援大会」と位置づけて開催しました。

義援金の募集口座の開設、チャリティーリストバンドの販売、被災地から参加されるチームのソーランナイトでの演舞機会の提供など、YOSAKOIソーラン祭りを通じて支援の輪を広げました。

(URL) <http://www.yosakoi-soran.jp/>



提供：YOSAKOI ソーラン祭り組織委員会

【第 19・20 回 YOSAKOI ソーラン祭りの開催概要】

	第 19 回（平成 22 年度）	第 20 回（平成 23 年度）
期 間	平成 22 年 6 月 9 日（水）～13 日（日）	平成 23 年 6 月 8 日（水）～12 日（日）
会 場	大通公園を始めとする市内 27 会場	大通公園を始めとする市内 20 会場
参 加 者	延べ 30,000 人 304 チーム	延べ 28,000 人 284 チーム
うち市内	78 チーム	75 チーム
道内	79 チーム	81 チーム
その他の	147 チーム	128 チーム
観 客 数	218 万 1,900 人	200 万 3,200 人
経 済 効 果	233 億 0,950 万円	212 億 4,600 万円

【観客数、参加チーム数、参加者数の推移（過去 10 年）】

	第11回 (14年度)	第12回 (15年度)	第13回 (16年度)	第14回 (17年度)	第15回 (18年度)	第16回 (19年度)	第17回 (20年度)	第18回 (21年度)	第19回 (22年度)	第20回 (23年度)
参加チーム数	344	330	333	334	350	341	330	316	304	284
参加者(百人)	440	440	430	430	450	430	430	330	300	280
観客数(万人)	151	202	208	214	186	216	202	179	218	200

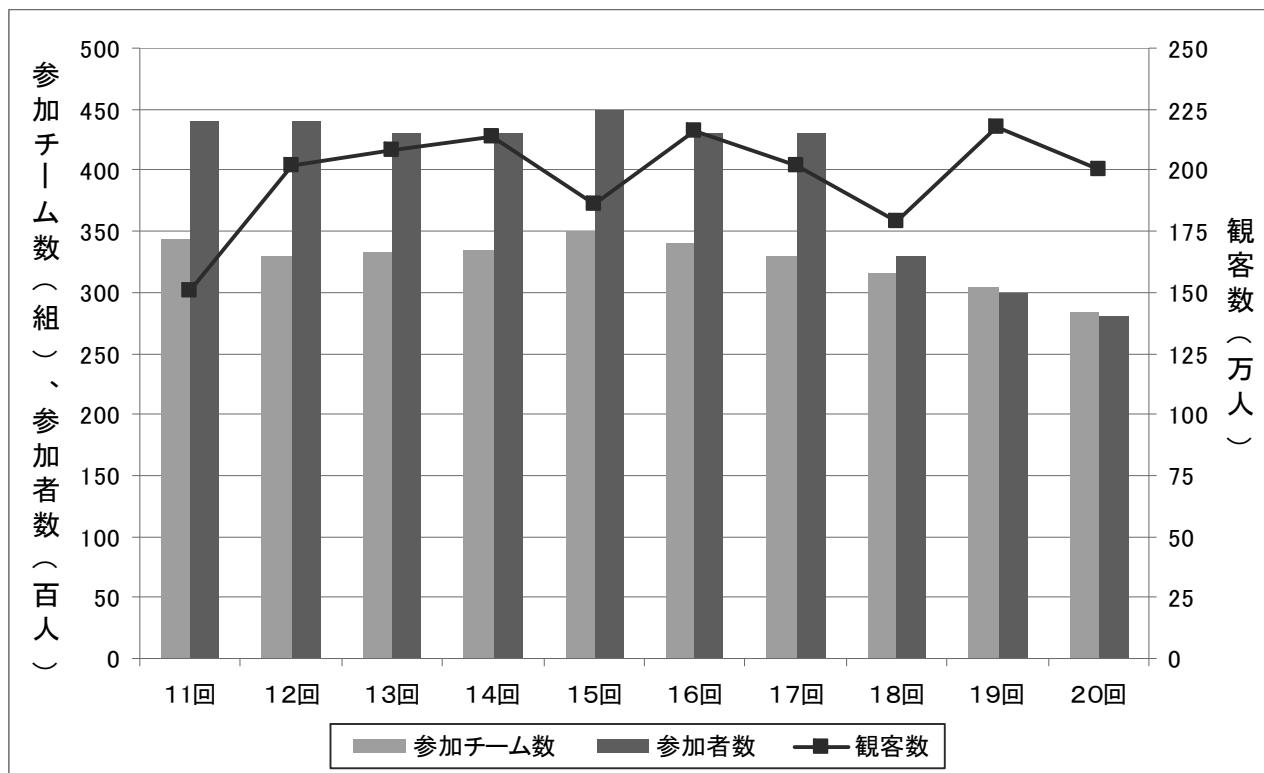


図 4-2 YOSAKOI ソーラン祭りの観客数、参加チーム数、参加者数の推移

(3) さっぽろ夏まつり

昭和 29 年、夏の観光名物の新規開拓を目指して、それまで市内の各団体・地域がそれぞれ独自に実施してきた夏の行事が一つにまとめられました。「さっぽろ夏まつり」の誕生です。

現在、このまつりは毎年 7・8 月に 1 カ月間連続して開催され、大通会場をはじめ、狸まつり、すすきの祭りなど、各団体・各地域の催しものから構成されています。そ



してこのイベントの中心となっているのがビアガーデンと盆踊りです

まつりの前半には、メイン会場の「福祉協賛さっぽろ大通ビアガーデン」に色とりどりのパラソルの花が咲き、ジョッキ数十万杯分の生ビールが市民や観光客ののどを潤します。後半に催される「北海盆踊り」では、提灯の列に彩られた夜の大通にやぐら太鼓が鳴り響き、大勢の市民と観光客で踊りの輪が広がっていきます。

(URL) <http://www.sapporo-natsu.com/>

【第 58 回さっぽろ夏まつりの開催概要】

期 間：平成 23 年 7 月 21 日（木）～8 月 20 日（土）〔31 日間〕

行事等

行 事 ・ 会 場		日 程
大 通	福祉協賛さっぽろ大通ビアガーデン (西 4～8、10・11 丁目)	7 月 21 日～8 月 15 日
	北海盆踊り（西 2 丁目）	8 月 14 日～20 日
	「仮装コンクール」（西 2・3 丁目）	8 月 20 日
	さっぽろバザール（西 5・6 丁目）	8 月 18 日～20 日
狸 小 路	第 58 回狸まつり	7 月 21 日～8 月 20 日
す す き の	第 47 回すすきの祭り	8 月 4 日～6 日

【ビール消費量および盆踊り参加者数の推移（過去 10 年）】

	第49回 (平成14年)	第50回 (平成15年)	第51回 (平成16年)	第52回 (平成17年)	第53回 (平成18年)	第54回 (平成19年)	第55回 (平成20年)	第56回 (平成21年)	第57回 (平成22年)	第58回 (平成23年)
ビール消費量(kℓ)	256	256	442	428	575	459	539	520	416	474
盆踊り参加者(千人)	127	173	149	84	87	101	108	91	115	103
平均最高気温(℃)	25.1	23.3	28.2	27.0	27.9	26.4	26.4	25.8	27.8	27.4

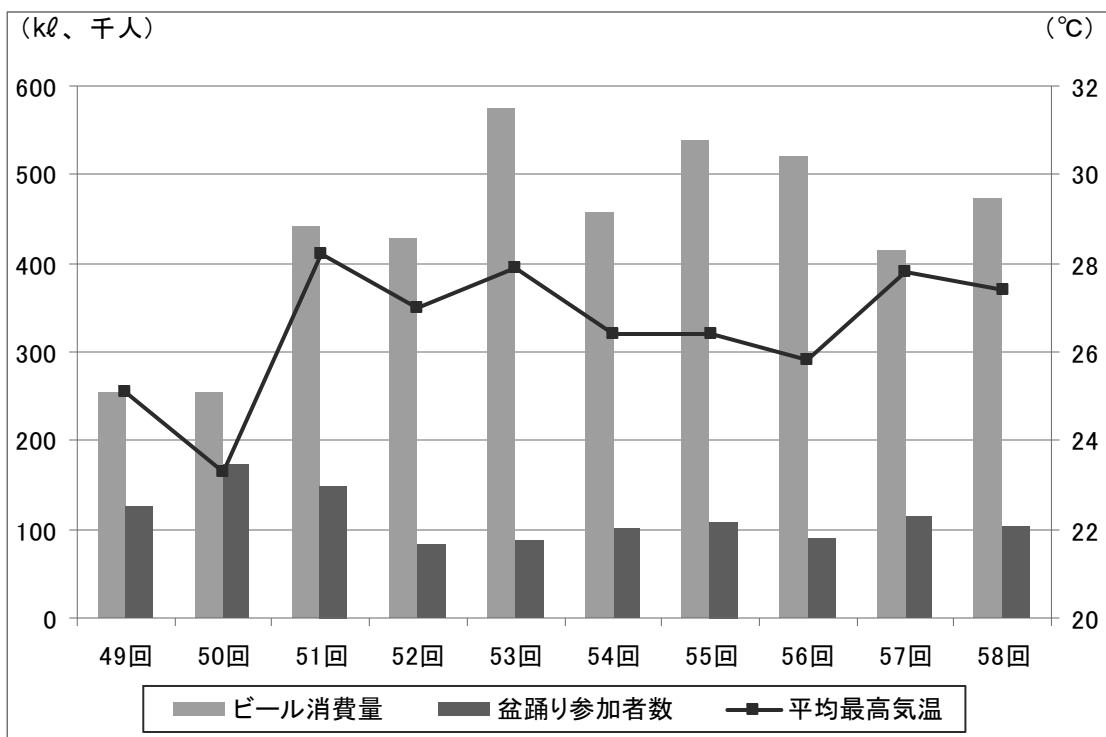


図 4-3 さっぽろ夏まつりのビール消費量及び盆踊り参加者数、平均最高気温の推移

(4) さっぽろライラックまつり

明治期に米国からもたらされて以来、ライラック（別名リラ）は多くの市民に愛され、街角や庭先を飾ってきました。昭和34年に「ロマンのまちらしい札幌のまつりを」という文化団体や芸術・文化人らの呼びかけで、ライラックまつりは始まりました。翌、昭和35年には、札幌市の人囗50万人突破を記念して行われた市民投票で、市の花・木・鳥を決めた際に「札幌の木」として選ばれています。



毎年5月下旬の開花時期にあわせて開催される「さっぽろライラックまつり」は、半年あまりの長い冬からの解放と野外散策の季節の到来を市民に告げるイベントであり、平成23年で53回目を迎えました。小・中・高校生による吹奏楽・合唱などが行われる「ライラック音楽祭」や茶道の各流派による「野だて」などの文化行事が多数行われたほか、道内14のワイナリーの個性豊かなワインと道産食材の料理を楽しむワインガーデンも人気を博しました。

また、第2会場として、白石区の川下公園でも、ライラックの森を公園職員が案内するライラックツアーやライラックをテーマとしたフォトコンテストなどの各種イベントを開催しました。

(URL) <http://www.sweb.co.jp/kanko/lilac/>

【第 52・53 回さっぽろライラックまつりの開催概要】

	第 52 回（平成 22 年度）		第 53 回（平成 23 年度）	
期 間	平成 22 年 5 月 19 日（水） ～23 日（日）	5 月 30 日（日） 6 月 6 日（日）	平成 23 年 5 月 25 日（水） ～29 日（日）	6 月 4 日（土） 6 月 5 日（日）
会 場	大通公園西 4～7 丁目	川下公園	大通公園西 4～7 丁目	川下公園
行 事 等	苗木プレゼント、ライラック写生コーナー、野だて、ライラック音楽祭、似顔絵コーナー、スタンプラリー、折紙教室、和紙ちぎり絵展示・教室、万華鏡の体験・展示コーナー、喫茶コーナー、ワインガーデン、ライラック展示・相談コーナー 他			
観客数	411,800 人		418,500 人	

(5) さっぽろ菊まつり

昭和 30 年代の園芸ブームに乗って菊作りの愛好者が増え、市民の関心が高まる中、それまでばらばらであった小規模な同好会の活動が一本化され、全市的なイベント「さっぽろ菊花展」が誕生しました。昭和 38 年の第 1 回開催から 4 年を経た第 5 回からは、名称が「さっぽろ菊まつり」に変わり、展示会から市民も催しの参加者となって共に楽しむまつりとなりました。

また、昭和 49 年からは、札幌地下街を会場とし、全国でも例のない屋内型の菊まつりとして、札幌市の秋の恒例行事として内外に定着しました。さらに、平成 23 年より、様々なイベントが可能な札幌駅前地下広場に主要会場を移し、菊花総合花壇の創設や、伝統的な芸術文化行事による和を基調とした空間演出などを併せて実施します。



(URL) <http://www.sweb.co.jp/kanko/kiku/>

【2010 さっぽろ菊まつりの開催概要】

期 間	平成 22 年 10 月 31 日（日）～11 月 3 日（水・祝）〔4 日間〕
会 場	さっぽろ地下街オーロラタウン・ポールタウン、地下鉄大通駅コンコース
行 事 等	菊花プレゼント、菊花展、初心者相談コーナー、菊づくり講習会
観客数	140 万人
出 展 数	549 点

(6) さっぽろホワイトイルミネーション

昭和 56 年に、秋の観光シーズンと「さっぽろ雪まつり」をつなぐイベントとして始められ、当初は大通公園の西 2 丁目のみを会場に 1,048 個の電球からスタートしました。現在は、大通公園と駅前通りを会場とするに至り、50 万個もの電球が飾られたシンボルオブジェや立木が東西・南北両方向に街を貫きます。

27 回からは、南一条通りが新会場として加わりました。



(URL) <http://www.white-illumination.jp/>

【第 30 回さっぽろホワイトイルミネーションの開催概要】

会期	大通公園会場 [大通西 1~8 丁目]	平成 22 年 11 月 26 日(金)~ 平成 23 年 1 月 2 日(日) 38 日間
	駅前通り会場 [北 4 条~南 4 条]	平成 22 年 11 月 26 日(金)~ 平成 23 年 2 月 13 日(日) 80 日間
	南一条通り会場 [南 1 西 1~西 3]	平成 22 年 11 月 26 日(金)~ 平成 23 年 2 月 13 日(日) 80 日間
点灯時間	16 時 30 分~22 時 30 分 (12 月 23 日~25 日は 24 時まで)	
総電球数	50 万個	
行事等	ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo 大通西 2 丁目 11 月 26 日(金)~12 月 24 日(金)	

(7) さっぽろオータムフェスト

さっぽろオータムフェストは、「北海道・札幌の食」をメインテーマとし、札幌市内の魅力発信はもとより、道内市町村や民間事業者との連携を図り、道内各地域のアンテナショップとしての役割を果たし、北海道全体の活性化に貢献することを目的に平成 20 年度からスタートしました。

道内各市町村で採れた農産物や海産物、地元の食材を生かした個性あるご当地のグルメ、道産の酒やおつまみなどの特選品が並び、多くの来場者の方々に秋の味覚をお楽しみいただきました。



(URL) <http://www.sapporo-autumnfest.jp/>

【さっぽろオータムフェスト 2011 の開催概要】

期 間	平成 23 年 9 月 16 日（金）～10 月 2 日（日）〔17 日間〕
会 場	大通公園 4 丁目～8 丁目
行 事 等	<ul style="list-style-type: none"> ・ オープニングセレモニー（6 丁目野外ステージ 9 月 16 日） ・ ウエルカムゲート（4 丁目） ・ 北海道の新・ご当地グルメ＆ラーメン祭り（5 丁目） ・ あおぞら×ほしづら 大通バザールアミーゴ！（6 丁目） ・ 北海道のお酒と酒肴（7 丁目） ・ 札幌大通ふるさと市場（8 丁目）

【来場者数の推移】

	第1回 (平成20年)	第2回 (平成21年)	第3回 (平成22年)
来場者数 (千人)	724	1,304	1,115

2 札幌でのコンベンション開催状況

(1) 札幌での主なコンベンション開催状況

(単位：件、%)

年 度	合 計		国際大会	全国大会	全道大会
	件 数	前年比(%)	件 数	件 数	件 数
18年度	911	104.5	64	222	625
19年度	952	104.5	67	112	773
20年度	1,059	111.2	109	183	767
21年度	987	93.2	87	104	796
22年度	1,050	106.4	83	164	803

(注) 関係機関、市内各大学各種団体に照会し、回答のあったものについて集計。

(2) 札幌コンベンションセンター稼働率（平成22年度）

	利用日(日)	稼働率(%)	総来場者数	349,233人
大ホール	265	74.9		
特別会議場	150	42.4		
中ホール	243	68.6		
小ホール	222	62.7		
会議室(15室)	250	70.7		

(注) 稼働率は、営業日数354日で計算。

参考

国際コンベンション開催状況の他都市との比較

(単位：件)

2007年（平成19年）			2008年（平成20年）			2009年（平成21年）		
順位	都 市	件 数	順位	都 市	件 数	順位	都 市	件 数
1	東京(23区)	440	1	東京(23区)	480	1	東京(23区)	497
2	京都	183	2	横浜	184	2	福岡	206
3	横浜	157	3	福岡	172	3	横浜	179
4	福岡	151	4	京都	171	4	京都	164
5	名古屋	109	5	名古屋	130	5	名古屋	124
6	神戸	89	6	神戸	94	6	大阪	94
7	つくば地区	82	7	つくば地区	80	7	札幌	82
8	大阪	76	8	大阪	77	8	神戸	76
9	仙台	51	9	札幌	77	8	つくば地区	74
10	札幌	44	10	千葉	67	10	千里地区	71

(注) 「千里地区」とは豊中市、吹田市、茨木市、高槻市、箕面市を指す。

「つくば地区」とはつくば市、土浦市を指す。

<資料>日本政府観光局（JNTO）国際会議統計

第5章 参考資料

1 観光施設の利用状況

(1) 主な観光施設入場者数

(単位：人)

施設名	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	前年度比
円山動物園	611,521	609,614	700,558	923,503	832,419	90.1%
モエレ沼公園	831,350	778,210	813,820	829,787	792,694	95.5%
滝野すずらん丘陵公園	587,072	624,850	588,237	571,242	600,562	105.1%
サッポロさとらんど	732,735	870,170	531,096	568,503	589,960	103.8%
札幌芸術の森	278,038	388,888	446,503	356,219	415,887	116.8%
白い恋人パーク	340,923	191,155	338,345	359,513	394,607	109.8%
北海道庁旧本庁舎	441,084	445,028	411,849	363,074	391,724	107.9%
札幌市青少年科学館	292,854	351,645	342,258	328,168	358,112	109.1%
羊ヶ丘展望台	414,730	396,963	385,960	359,936	357,298	99.3%
大倉山ジャンプ競技場	462,646	474,295	440,808	427,674	346,658	81.1%
テレビ塔展望台	415,121	443,879	408,334	359,975	343,934	95.5%
JRタワー展望室 T38	311,815	286,740	269,199	249,358	285,589	114.5%
北海道立近代美術館	245,684	366,280	230,487	236,321	221,215	93.6%
時計台	208,971	206,661	198,636	171,751	180,076	104.8%
サッポロビール博物館	143,900	146,909	142,762	148,473	153,278	103.2%
札幌市資料館	69,835	148,717	138,655	142,863	132,167	92.5%
北海道開拓の村	168,634	166,344	144,219	140,596	131,879	93.8%
サンピアザ水族館	113,647	120,108	123,856	137,963	130,124	94.3%
観覧車NORIA	379,916	202,590	151,710	120,600	111,500	92.5%
北海道大学総合博物館	73,993	89,042	62,701	69,646	104,661	150.3%
北海道開拓記念館	90,744	95,246	84,643	67,889	81,942	120.7%
豊平川さけ科学館	79,506	84,603	89,442	84,916	74,421	87.6%
豊平峡	78,146	81,151	83,264	74,856	74,062	98.9%
札幌ウインターリースポーツミュージアム ※1	121,946	108,922	99,114	86,701	64,165	74.0%
札幌ドーム（ドームツアーや展望台等利用者）	69,109	66,246	58,941	61,867	59,302	95.9%
オートリゾート滝野	48,596	50,350	52,560	50,282	47,954	95.4%
札幌市アイヌ文化交流センター	39,621	40,174	51,044	47,035	47,586	101.2%
北大附属植物園	60,698	58,859	57,093	45,094	46,515	103.2%
札幌市下水道科学館	35,248	35,788	34,342	37,930	43,254	114.0%
北海道立文学館	16,812	30,023	28,551	42,325	42,882	101.3%
宮の森ジャンプ競技場	29,132	27,979	36,212	37,755	28,304	75.0%
雪印メグミルク 酪農と乳の歴史館	29,389	25,836	21,819	20,268	23,466	115.8%
定山渓自然の村	25,223	14,637	16,626	17,520	17,475	99.7%
エリエールスクエア札幌 渡辺淳一文学館	12,723	13,900	11,709	13,799	14,851	107.6%
八窓庵 ※2			3,711	12,101	13,427	111.0%
豊平館	16,378	15,047	16,540	11,922	13,117	110.0%
清華亭	9,100	7,114	10,244	8,930	9,534	106.8%
本郷新記念札幌彫刻美術館	7,367	6,725	6,503	6,894	7,841	113.7%
エドウインダン記念館	6,014	5,432	6,404	5,634	5,891	104.6%
旧永山武四郎邸	7,255	8,320	6,431	5,375	5,545	103.2%
札幌村郷土記念館	3,747	4,180	4,641	3,578	3,931	109.9%
旧黒岩家住宅	3,079	2,510	2,741	2,600	2,662	102.4%
北海道鉄道技術館	1,091	1,498	1,485	1,695	2,293	135.3%
新琴似屯田兵中隊本部	1,170	1,882	1,717	2,041	2,159	105.8%
札幌市文化資料室	1,290	1,027	2,753	2,096	2,006	95.7%
琴似屯田兵村兵屋跡 ※3	4,130	4,719	4,115	3,949	1,667	42.2%
藻岩山 ※4	502,430	520,857	493,247	479,195	0	0.0%

※1 22年11月～23年2月上旬まで改修工事のため休館。

※2 17～19年度まで復旧工事中のため一般公開なし。20年度は9日間の公開のみ。

※3 22年6月～12月まで改修工事のため観覧休止

※4 22年度よりロープウェイ及び展望施設等改修工事のため休業中

(2) 主な集客施設観客数

(単位：人)

施設名	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	前年度比%
札幌コンサートホール Kitara	412,411	440,584	441,761	420,361	399,141	95.0%
札幌ドーム	2,582,677	2,871,479	2,904,458	2,974,296	2,345,955	78.9%

(3) スキー場リフト利用状況（リフト利用延べ人数）

(単位：千人)

年 度	合 計	サッポロ ティネ	ばんけい	藻岩山	真駒内※	フッズ スノー エリア	札幌 国際
18年度	8,852	2,928	1,383	1,210	499	747	2,085
19年度	8,410	2,898	1,450	1,309		831	1,922
20年度	7,991	2,480	1,459	1,166		808	2,078
21年度	8,034	2,452	1,739	1,291		872	1,680
22年度	7,657	2,359	1,599	1,334		768	1,597
前年度比 (%)	95.3%	96.2%	91.9%	103.3%		88.1%	95.1%
22年度 営業期間		11/30 ～5/8	12/16 ～4/10	12/19 ～3/31		12/19 ～3/31	11/20 ～5/5

※真駒内スキー場は、平成19年3月に廃業。

2 定期観光バス利用者数（北海道中央バス）

(単位：人)

コース名	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	前年度比	備考
さっぽろ散策バス (路線バス)	36,914	37,791	16,189	4,020	28,725	714.6%	運行期間拡大 (夏季のみ⇒春～秋)
さっぽろうお～く (路線バス)	—	348,838	307,500	297,000	301,000	101.3%	19年度より調査開始
<春～秋季>合計	28,946	23,899	22,188	22,474	19,935	88.7%	
2階建てバス 白い恋人パークと場外市場コース	2,998	2,978	4,123	5,014	4,317	86.1%	※多言語案内ツアーパーク
2階建てバス 大倉山&羊ヶ丘展望台コース				4,167	4,200	100.8%	21年4月より運行 ※多言語案内ツアーパーク
朝の中央卸売市場場外市場コース					325	—	22年5月より運行
夜の札幌遊覧バスコース					122	—	22年6月より運行
春の札幌コース	177	148	155	197	317	160.9%	
札幌1日コース	3,435	2,572	2,469	2,093	562	26.9%	
夏の札幌1日コース					367	—	22年6月より運行
すずらんコース	10,580	7,994	7,491	5,854	5,658	96.7%	
夜の札幌コース	4,384	3,833	3,605	3,247	905	27.9%	
すすきのニューハーフショー		676	320	232	173	74.6%	19年6月より運行
札幌・小樽早巡りコース（白い恋人パークと小樽運河散策）				585	1,688	288.5%	21年5月より運行
さっぽろスイーツめぐり					499	—	22年6月より運行
札幌おまかせ満腹コース					802	—	22年6月より運行
<冬季>合計	6,032	5,725	4,786	6,590	6,976	105.9%	
2階建てバス 白い恋人パークと場外市場コース	1,630	1,767	2,115	1,916	1,912	99.8%	※多言語案内ツアーパーク
2階建てバス 午後の札幌遊覧コース				1,277	1,249	97.8%	21年12月より運行 ※多言語案内ツアーパーク
ホワイトイルミネーション大通公園&大倉山ドライブ	597	342	461	167	284	170.1%	
【さっぽろ雪まつり期間限定】 大通公園&大倉山ドライブ				434	411	94.7%	22年2月より運行
冬の札幌1日コース	589	523	651	572	461	80.6%	
さっぽろ滝野スノーワールド冬体験コース					147	—	22年12月より運行
札幌ワインターストーリーコース	1,623	1,610	317	1,036	462	44.6%	
札幌おまかせ満腹コース				550	603	109.6%	21年12月より運行
夜の札幌コース					557	—	22年11月より運行
冬の小樽・札幌早めぐりコース					890	—	22年11月より運行

3 北海道さっぽろ「食と観光」情報館・北海道さっぽろ観光案内所利用者数
(単位:人)

		20年度	21年度	22年度	前年度比
「食と観光」 情報館 入館者数	合計	1,555,272	1,490,579	1,399,370	93.9%
	一日平均	4,261	4,084	3,834	93.9%
北海道さっぽろ 観光案内所 利用者数	合計	155,945	154,553	159,830	103.4%
	一日平均	427	423	437	103.3%
外国人利用者数	合計	28,698	30,843	38,487	124.8%
外国人 利用者数 (国別内訳) ※職員対応	台湾	1,669	1,588	2,338	147.2%
	韓国	3,345	4,411	7,472	169.4%
	香港	5,185	5,166	5,139	99.5%
	中国	492	818	1,668	203.9%
	シンガポール	1,349	1,604	2,671	166.5%
	その他アジア	2,060	2,899	3,692	127.4%
	欧米	7,396	8,076	9,054	112.1%
	オーストラリア (オセアニア)	548	350	578	165.1%
	その他	2,328	1,771	1,298	73.3%

4 札幌発着航空路線

(1) 国内線

平成23年9月1日現在

発着空港	地 方	路 線		航空会社
		都道府県	空 港	
新 千 歳	北 海 道	—	函 館	A N A
			旭 川	S K Y
			稚 内	A N A
			利 尻	A N A
			女 満 別	A N A J-AIR
			たんちょう釧路	A N A
			根室中標津	A N A
千歳	東 北	青 森 県	青 森	J-AIR
		岩 手 県	いわて花巻	J-AIR
		宮 城 県	仙 台	A N A J-AIR
				A D O
				I B X
		秋 田 県	秋 田	J-AIR
		福 島 県	福 島	A D O
千歳	関 東	茨 城 県	茨 城	S K Y
		千 葉 県	成 田	A N A J A L
				J E X
		東 京 都		A N A J A L
		羽 田	A D O	
			S K Y	
千歳	中 部	新 潟 県	新 潟	A N A A D O
		富 山 県	富 山	A D O
		石 川 県	小 松	A D O
		長 野 県	信州まつもと	F D A J A L
		静 岡 県	富士山静岡	A N A F D A
				J A L
		愛 知 県	中 部	A N A J A L
				J E X S K Y
千歳	近 畿	大 阪 府	伊 丹	A N A J A L J-AIR
			關 西	A N A J A L
				J E X
		兵 庫 県	神 戸	A N A S K Y
		中 国	岡 山 県	A N A
			広 島 県	J A L
		四 国	愛 媛 県	松 山

発着空港	地方	路 線		航空会社
		都道府県	空 港	
新千歳	九州	福岡県	福岡	A N A J A L J E X

発着空港	地 方	路 線		航空会社
		都道府県	空 港	
丘珠	北海道	-	函館	H A C
			女満別	H A C
			たんちょう釧路	H A C

注) 航空会社欄の ANA は全日本空輸、JAL は日本航空、J-AIR はジェイエア、JEX はジャル エクスプレス、ADO は北海道国際航空、SKY はスカイマーク、FDA はフジドリームエアラインズ、IBX はアイベックスエアラインズ、HAC は北海道エアシステムを示す。

(2) 国際線

平成23年9月1日現在

発着空港	路 線	航 空 会 社	便 数
新千歳	北 京	中国国際航空 (全日本空輸コードシェア)	週 3 便
	グ ア ム	コンチネンタル航空 (全日本空輸コードシェア)	週 2 便
	香 港	キャセイパシフィック航空 (日本航空コードシェア)	週 4 便
	釜 山	大韓航空	週 3 便
	ソウル(仁川)	大韓航空 (日本航空コードシェア)	週 14 便
		イースター航空	週 2 便
		ジンエアー	週 2 便
	上 海	中国東方航空 (日本航空コードシェア)	週 5 便
	台 北	エバー航空 (全日本空輸コードシェア)	週 7 便
		チャイナエアライン	週 7 便
	ユジノサハリンスク	サハリン航空	週 2 便

5 気象概況

(札幌管区気象台発表の数値を基礎に集計)

年 度	気温 (°C)			日照 時間 (時間)	降水量 (mm)	降雪 量 (cm)	寒暖日数 ¹⁾			
	平均	最高	最低				真夏日	夏 日	冬 日	真冬日
平 年 ²⁾	8.9	—	—	1,740.4	1,106.5	597	8.0	49.1	124.8	45.0
平成 18 年度	9.4	32.8	-9.4	1,732.6	1,122.5	565	14	58	118	28
19 年度	9.2	34.2	-13.2	1,816.4	968.0	427	10	54	122	45
20 年度	9.7	31.4	-9.9	1,749.3	914.0	489	4	58	121	28
21 年度	9.1	31.2	-12.6	1,626.9	1,073.0	484	4	37	124	37
22 年度	9.9	34.1	-10.1	1,653.0	1,324.0	479	20	79	115	34
平成 22 年 4 月	5.5	15.1	-0.8	124.3	67.5	3	—	—	3	—
5 月	12.2	24.9	4.5	186.7	44.5	—	—	—	—	—
6 月	19.2	31.6	7.1	222.7	73.0	—	3	15	—	—
7 月	22.1	32.0	15.4	73.9	143.5	—	2	17	—	—
8 月	24.8	34.1	16.9	158.4	213.5	—	13	30	—	—
9 月	20.0	31.7	8.5	181.3	92.0	—	2	17	—	—
10 月	12.2	22.5	0.2	144.4	130.5	9	—	—	—	—
11 月	5.9	17.3	-4.0	89.5	194.5	25	—	—	6	1
12 月	0.6	12.2	-8.2	55.8	115.0	58	—	—	24	5
平成 23 年 1 月	-3.8	3.0	-10.1	115.5	120.0	172	—	—	31	20
2 月	-1.1	9.3	-8.8	140.8	69.5	111	—	—	26	6
3 月	0.7	10.5	-7.7	159.7	60.5	101	—	—	25	2

1) 真夏日とは最高気温が 30.0°C 以上の日、夏日とは最高気温が 25.0°C 以上の日、冬日とは最低気温が 0.0°C 未満の日、真冬日とは最高気温が 0.0°C 未満の日をいう。

2) 昭和 56 年 (1981 年) から平成 22 年 (2010 年) までの平均値。

6 札幌観光のあゆみ

年 度	沿 革
大正 11(1922) 年度	市制施行。
昭和 2 (1927) 年度	公会堂として豊平館新館完成。
6 (1931) 年度	大倉山シャンツェ竣工。
11 (1936) 年度	札幌観光協会設立。
12 (1937) 年度	札幌一東京間定期航空開始。
21 (1946) 年度	定山渓観光協会設立。
24 (1949) 年度	第1回さっぽろ雪まつり開催。
26 (1951) 年度	円山動物園開園。
28 (1953) 年度	札幌一千歳間（国道36号線）弾丸道路舗装完成。
29 (1954) 年度	第1回さっぽろ夏まつり、第1回狸まつり開催。
32 (1957) 年度	テレビ塔完成。藻岩山観光自動車道完成。
33 (1958) 年度	もいわ山ロープウェイ営業開始。豊平館、中島公園内に移築。
34 (1959) 年度	第1回さっぽろライラックまつり開催。ポートランド市と姉妹都市提携調印。羊ヶ丘展望台開設。さっぽろ夏まつりのビアガーデンを初めて開催。
35 (1960) 年度	市民の投票により札幌の花（スズラン）、木（ライラック）、鳥（カッコウ）を決定。
38 (1963) 年度	第1回さっぽろ菊まつり開催。
40 (1965) 年度	第1回定山渓かっぱ祭り開催。第1回すすきの祭り開催。
45 (1970) 年度	時計台が重要文化財に指定される。90m級大倉山ジャンプ競技場完成。
46 (1971) 年度	第11回冬季オリンピック大会開催。北海道開拓記念館オープン。
47 (1972) 年度	政令指定都市へ移行し、7区役所開設。ミュンヘン市と姉妹都市提携調印。豊平峡ダム完成。
48 (1973) 年度	札幌市資料館オープン。札幌観光協会社団法人化。
53 (1978) 年度	「札幌の観光（観光白書）」発行開始。「カッコウの窓口」開設。すすきの観光協会設立。緑のセンター開設。
54 (1979) 年度	25年ぶりに豊平川にサケ遡上。冬のスポーツ博物館オープン（～平成11年12月）。
55 (1980) 年度	瀋陽市と友好都市提携調印。本市の観光キャッチフレーズ「好きです。Sapporo」がロゴマークとともに決定。
56 (1981) 年度	青少年科学館オープン。第1回さっぽろホワイトイルミネーション開催。
58 (1983) 年度	北海道開拓の村オープン。百合が原公園開園。
59 (1984) 年度	第1回札幌国際見本市開催。豊平川さけ科学館オープン。
60 (1985) 年度	第1回アジア冬季競技大会開催。「国際観光モデル地区」の指定を受ける。
61 (1986) 年度	'86さっぽろ花と緑の博覧会開催。札幌芸術の森一部オープン。
62 (1987) 年度	第1回さっぽろ国際フェスティバル開催。サッポロビール博物館オープン。
平成元 (1989) 年度	「さっぽろ雪まつり」の中島会場を第4会場として設置。定山渓ダム完成。はまなす国体開催。円山動物園に「タスマニア館」（現カンガルー館）オープン。厚別・手稲区の誕生により、9区体制へ移行。
2 (1990) 年度	ノボシビルスク市と姉妹都市提携調印。PMF（パシフィック・ミュージック・フェスティバル）初開催。「観光基本計画」策定。ユニバーシアード冬季大会開催。定山渓に「メルヘンかっぱ像」20体設置。

年 度	沿 革
3 (1991)年度	第1回定山渓もみじ大茶会開催。
4 (1992)年度	政令指定都市移行 20周年記念事業メモリアルコンサート「さっぽろの歌」開催。定山渓観光協会社団法人化。観光客誘致キャンペーン「さっぽろの夕べ」(～平成15年度)初開催。第1回YOSAKO I ソーラン祭り開催。
5 (1993)年度	大通公園(8-9丁目)連続化。第1回さっぽろふれあいフェスタ開催。すすきの観光協会社団法人化。
6 (1994)年度	「国際会議観光都市」の認定を受ける。リンクエージ・アップフェスティバル初開催。阪神淡路大震災のため「さっぽろ雪まつり」の花火大会などを自粛。
7 (1995)年度	円山動物園にキッドランドと熱帯鳥類館オープン。サッポロさとらんど一部オープン。「おおば比呂司記念室」札幌市資料館内にオープン。YOSAKO I ソーラン祭り普及振興会設立。札幌市観光産業経済効果調査結果発表。
8 (1996)年度	「さっぽろリンクルバス」登場。「石山緑地」オープン。定山渓温泉「健康保養地」宣言。さっぽろホワイトイルミネーション「日本建築美術工芸協会賞 特別賞」受賞。青少年科学館リニューアルオープン。
9 (1997)年度	下水道科学館、札幌コミュニケーションドーム(愛称・つどーむ)、札幌コンサートホール「Kitara」オープン。道央三温泉協議会設立。札幌市営観光バスを廃止。清田区の誕生により10区体制へ移行。
10(1998)年度	YOSAKO I ソーラン祭り組織委員会設立。円山動物園「動物センター」、渡辺淳一文学館、定山渓自然の村、モエレ沼公園オープン。さっぽろ夏まつりビアガーデンに地ビール登場。北海道国際航空(エア・ドゥ)就航。
11(1999)年度	さっぽろ羊ヶ丘展望台「羊ヶ丘ウエディングパレス」、北海道立総合体育センター(愛称・きたえーる)オープン。
12(2000)年度	大倉山ジャンプ競技場リニューアルオープン。 札幌ウィンタースポーツミュージアムオープン。
13(2001)年度	札幌ドーム「Hiroba」オープン。
14(2002)年度	2002FIFAワールドカップ開催(札幌ドームで3試合開催)。ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo開催。札幌駅南口にJRタワー(平成15年3月)。札幌コンベンションセンター竣工。
15(2003)年度	札幌コンベンションセンターオープン。
16(2004)年度	さっぽろ赤レンガカフェ(～平成19年度)、さっぽろら~めん共和国、千歳鶴ミュージアム・アネックスオープン。サッポロビール博物館リニューアルオープン。
17(2005)年度	さっぽろライラックまつりで「ライラックワインガーデン」開催。第1回藻岩山の日。モエレ沼公園グランドオープン。定山渓温泉公園オープン。サッポロさとらんどがさっぽろ雪まつりの第2会場に。
18(2006)年度	ノリアオープン。さっぽろスイーツのコンペティションスタート。藻岩山にて、BAR THE ICE開催。FISノルディックスキー世界選手権札幌大会開催。北海道さっぽろ「食と観光」情報館オープン。
19(2007)年度	平岡公園の梅林ライトアップ事業実施(～平成22年度)。「SAPPORO CITY JAZZ」初開催。観光文化情報ステーションオープン。さっぽろ雪まつり大通会場にスケートリンク設置。
20(2008)年度	北海道洞爺湖サミット開催。さっぽろオータムフェスト初開催。観光立国の推進体制強化を目的に観光庁発足。つどーむがさっぽろ雪まつり第2会場に。

年 度	沿 革
21(2009)年度	さっぽろ広域観光圏認定。中国人個人観光客への査証発給開始。新千歳空港国際線旅客ターミナルオープン。
22(2010)年度	東日本大震災発生。大田（テジョン）広域市と姉妹都市提携調印。札幌M I C E 総合戦略策定。札幌駅前通地下歩行空間開通。札幌ウィンタースポーツミュージアムリニューアルオープン。羽田空港の国際線拡大、国際定期便運行開始。A-net が丘珠空港から撤退。H A C の再編が行われる。劇団四季劇場オープン。大通ビッセオープン。

7 平成 23 年度イベントカレンダー

月	イベント名	日程	内容	会場	問合せ先 (市外局番 011)
4月	渓流鯉のぼり	4月9日（土曜日）～5月8日（日曜日）	定山渓の渓流に約350匹の鯉のぼりを掲揚する定山渓温泉の春の風物詩。	定山渓スポーツ公園ほか	定山渓温泉旅館組合 598-2537
5月	第53回さっぽろライラックまつり	大通公園：5月25日（水曜日）～5月29日（日曜日） 川下公園：6月4日（土曜日）・5日（日曜日）	ライラック苗木のプレゼント、記念植樹、ワインガーデン、野だて、喫茶コーナー、音楽隊演奏など、札幌の木ライラックが満開の大通公園の春のイベント。	大通公園・川下公園	実行委員会 211-3341
	藻岩山の日	5月28日（土曜日）～5月31日（火曜日）	標高531mにちなみ、記念登山などのイベントを行います。	藻岩山	事務局 211-2376
6月	第34回北海道を歩こう	6月5日（日曜日）	札幌市南区真駒内からスタートし支笏湖まで33キロを歩くウォーキングイベント。10キロのコースもあります。	真駒内～支笏湖	さっぽろ健康スポーツ財団 530-5562
	第20回YOSAKOIソーラン祭り	6月8日（水曜日）～12日（日曜日）	自由で独創的な激しいリズムにのって約300チーム、3万人以上が乱舞する。飛び入り参加ができるワオドリソーランもあります。	大通公園ほか	組織委員会 231-4351
	北海道神宮例祭	6月14日（火曜日）～16日（木曜日）	御輿、山車、露店など、昔ながらのお祭り。「郷土の日」を実感する通称「札幌祭り」です。	北海道神宮・札幌市内	北海道神宮 611-0261
	花フェスタ2011札幌	6月25（土曜日）～7月3日（日曜日）	パビリオンでのラン展示他、立体花壇や花モニュメントで初夏の札幌の街を美しく彩ります。	大通公園	事務局 863-3987
7月	第54回札幌国際ハーフマラソン	7月3日（日曜日）	IAAF（国際陸上競技連盟）とAIMS（国際マラソン・ロードレース協会）公認の国際大会で、毎年、海外からの招待選手を含め世界の頂点にいる選手が参加します。	円山競技場発着	さっぽろ健康スポーツ財団 530-5562
	PMF（パシフィック・ミュージック・フェスティバル2011）	7月9日（土曜日）～8月4日（木曜日）	若手音楽家を育成するとともに、音楽教育を通じて音楽文化の普及・発展をめざす国際教育音楽祭。クラッシャークを野外でのピクニックコンサートなどでも楽しめます。	芸術の森、コンサートホールKitaraほか	組織委員会 242-2211
	SAPPORO CITY JAZZ2011（さっぽろ夏まつり協賛行事）	7月13日（水曜日）～8月23日（火曜日）	緑が多い札幌の特徴を活かした都市型ジャズフェスティバル。ゲストミュージシャンによるワークショップを行うほか、イベント運営にボランティアスタッフが参加するなど、音楽を通した芸術文化の振興を市民と一緒に行います。ミュージックメント「ホワイトロック」などで、様々なライブを行います。	大通公園、芸術の森など	実行委員会 592-4125
	カルチャーナイト2011	7月15日（金曜日）	普段は夕方で閉館する文化施設や民間施設で夜間開放を行います。普段はできない貴重な文化体験ができます。	北一条通りと札幌駅前通りを軸としたエリア	実行委員会 261-8633
	第37回豊平川イカダ下り（さっぽろ夏まつり協賛行事）	7月17日（日曜日）	市民のチームが、手製のイカダで川を流れ下ります。ユニークなイカダやコスチュームでのパフォーマンスが楽しい。	豊平川幌平橋下流	実行委員会事務局（中央区役所地域振興課内） 231-2400 内線256

月	イベント名	日程	内容	会場	問合せ先 (市外局番 011)
7月	真駒内花火大会	7月17日（日曜日）	約12,000発の花火と照明・炎を、音楽とシンクロさせた花火大会。道産食材を提供する飲食ブースを多数出店します。小学生以上有料です。	真駒内セキスイハイムスタジアム	真駒内花火大会実行委員会 841-8166
	第58回さっぽろ夏まつり	7月21日（木曜日）～8月20日（土曜日）	約1ヶ月間、大通公園を会場に、ビアガーデンや、北海盆踊り、さっぽろバザールなど、様々なイベント等で夏を楽しめます。 ビアガーデンは7月21日（木曜日）から8月15日（月曜日）までです。	大通公園	実行委員会 211-3341
	第58回狸まつり	7月21日（木曜日）～8月20日（土曜日）	さっぽろ夏まつりに併せて行われる、狸小路の夏まつり。歴史ある商店街の情緒ある祭り風情は、とても素敵です。	狸小路商店街	商店街振興組合 241-5125
	第2回薄野おもてなし縁市	7月21日（木曜日）～7月23日（土曜日）	地元すすきのの飲食店が屋台を出店し、飲食を提供するとともに、ステージでは様々なイベントを展開します。	すすきの地区（南6条周辺）	実行委員会 050-511-6422
	豊平川花火大会（さっぽろ夏まつり協賛行事）	7月29日（金曜日）	道新・UHB花火大会	豊平川南大橋付近	北海道新聞社 210-5732
8月	第8回札幌市長杯荒井山ジュニアサマージャンプ大会（さっぽろ夏まつり協賛行事）	8月2日（火曜日）	小中学生によるサマージャンプ競技を観戦することができます。	荒井山シャンツェ	札幌スキーア連盟 221-1661
	第8回すすきのはしご酒大会（さっぽろ夏まつり協賛行事）	8月3日（水曜日）	チケット交換で渡されるラリーカードを持ち、指定される5軒の飲食店を、スタートの18時30分～ゴール締め切りの20時30分までにハシゴするというウォーカラリー。	すすきの地区	すすきの観光協会 518-2005
	第47回すすきの祭り	8月4日（木曜日）～6日（土曜日）	屋台、花魁道中、みこし渡御、ワゴンセールなど、すすきのが一大イベント会場に。綺麗な花魁は必見です。	すすきの地区	すすきの観光協会 518-2005
	灯籠流し	8月15日（月曜日）	毎年8月15日の行事。	鴨々川護国神社付近	妙心寺 511-7634
	第29回札幌市長杯宮の森サマージャンプ大会（さっぽろ夏まつり協賛行事）	8月20日（土曜日）	国内のトップ選手が集うノルディックスキージャンプ競技の大会。冬だけでなく夏でもジャンプ競技を観戦することができます。	宮の森ジャンプ競技場	札幌スキーア連盟 221-1661
	第12回札幌市長杯大倉山サマージャンプ大会（さっぽろ夏まつり協賛行事）	8月21日（日曜日）	国内のトップ選手が集うノルディックスキージャンプ競技の大会。冬だけでなく夏でもジャンプ競技を観戦することができます。	大倉山ジャンプ競技場	札幌スキーア連盟 221-1661
	2011北海道マラソン	8月28日（日曜日）	国内・外の招待選手と一般ランナーがフィニッシュ地点の大通公園を目指します。札幌市内各地で選手の力走をみることができます。	中島公園スタート、大通公園フィニッシュ	北海道新聞社 232-0840
9月	すすきの夜市・音楽祭2011	9月2日（金曜日）～3日（土曜日）	地元すすきのの飲食店が屋台を出店し、飲食を提供するとともに、ステージではプロ・アマチュアバンドのライブステージなどが行われます。	すすきの地区	実行委員会 050-5511-6422

月	イベント名	日程	内容	会場	問合せ先 (市外局番 011)
9月	第11回さっぽろパフォーマンスカーニバル「だい・どん・でん！」	9月3日（土曜日）～4日（日曜日）	札幌駅前通りの歩行者天国で、大道芸・アート・音楽のあらゆるジャンルのパフォーマンスが行われます。	駅前通（歩行者天国）	札幌都心にぎわいづくり実行委員会事務局 211-1185
	さっぽろタパス2011	9月4日（日曜日）～11日（日曜日）	札幌の街の中を回って飲食店などを食べ歩くイベント。ボノタパスというチケット綴り（5枚/9枚）を使って、参加店をめぐり、各店の特色あるタパス（おつまみ）と飲み物を楽しめます。	大通、すすきの、円山、藻岩山・山鼻地区など	さっぽろタパス実行委員会 211-1957
	アシリチエップノミ（新しい鮭を迎える儀式）	9月11日（日曜日）	アイヌ民族の伝統行事「新しい鮭迎えの儀式」で、途絶えてからおおよそ100年ぶりに昭和57年から復活しました。	豊平川南7条大橋上流左岸河川敷（南7条西1丁目）	アシリチエップノミ実行委員会 807-0083
	さっぽろオータムフェスト2011	9月16日（金曜日）～10月2日（日曜日）	食をメインテーマとした秋の豊穣祭。北海道・札幌を代表する食・グルメを中心に、道内各地から旬の素材、ご当地グルメを一同に取り揃えます。北海道の秋の実りを満喫できる新しいお祭り。	大通公園	実行委員会 211-3341
	簾舞通行屋（みすまいつけこうや）まつり	9月25日（日曜日）	札幌市指定文化財・旧黒岩家住宅で催される簾舞地域の交流イベント。	旧黒岩家住宅（旧簾舞通行屋）	簾舞通行屋まつり実行委員会 596-2059
10月	第36回札幌マラソン大会	10月2日（日曜日）	ハーフマラソン、10km、車イス5km、ファンペア3km、2kmなど、多彩な種目で気軽に楽しむことができます。	真駒内屋外競技場スタート	さっぽろ健康スポーツ財団 530-5562
	第6回札幌国際短編映画祭	10月5日（水曜日）～10月10日（月曜日・祝日）	札幌市において将来性が期待されるデジタルコンテンツ分野の中でも、短編映画（ショートフィルム）の産業化を推進するため、国際映画祭を札幌で開催します。	札幌東宝プラザほか	SAPPOROショートフェスト実行委員会 817-8924
	2011さっぽろ菊まつり	10月31日（月曜日）～11月3日（木曜日）	大輪や懸崖など、市民の自慢の力作が札幌駅前通地下歩行空間に大々的に展示されます。	札幌駅前通地下歩行空間	実行委員会 211-3341
11月	さっぽろアートステージ2011	11月1日（火曜日）～12月4日（日曜日）	札幌市の芸術文化月間と位置付け、演劇、ストリートライブ、小中高校生の音楽祭等、文化的事業を集中的に行います。	市内各所	実行委員会 281-7117
	第31回さっぽろホワイトイルミネーション	大通公園：11月25日（金曜日）～12月25日（日曜日） 札幌駅前通・南一条通：11月25日（金曜日）～24年2月12日（日曜日）	メインオブジェ、立木装飾など、幻想的なイルミネーションが、札幌駅前通、大通公園、南一条通りを鮮やかに彩ります。	大通公園・札幌駅前通・南一条通	札幌観光協会 211-3341
	ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo	11月25日（金曜日）～12月24日（土曜日）	姉妹都市ミュンヘンのクリスマス市を大通公園に再現します。異国情緒豊かで、本場ドイツのワインやビール、ソーセージなど特産品が味わえます。	大通公園2丁目	クリスマス市実行委員会 211-2032

月	イベント名	日程	内容	会場	問合せ先 (市外局番 011)
2月	第32回札幌国際スキーマラソン	24年2月5日 (日曜日)	スキーマラソンから歩くスキーマで、様々な種目があり、世代を問わず参加できる大会です。	札幌ドーム周辺	さっぽろ健康スポーツ財団 530-5562
	第63回さっぽろ雪まつり	24年2月6日 (月曜日) ~ 12日 (日曜日)	今や世界的にも有名になっている、雪国最大のイベント。大小合わせて250基の雪氷像が、大通公園やすすきの会場で堪能できます。雪で出来ているとは思えない精巧な大雪像は、高さ15メートルにも及びます。	大通公園・ つどーむ・ すすきのほ か	実行委員会 211-3341
	札幌モーターショー2012	24年2月17日 (金曜日) ~ 19日 (日曜日)	北海道内では過去にない規模で開催されるモーターショー。国内外の自動車メーカーや自動二輪車メーカーが、最新技術を駆使した次世代車を出展するほか、道内自動車産業の技術の高さをPRするコーナーも設置されます。	札幌ドーム	札幌モーター シヨー2012実 行委員会 210-5732

※ 日程・イベント名等は予定です。変更・中止の可能性がありますので、ご注意ください。

本書は、ホームページ「札幌の観光行政」内の「観光統計データ
(<http://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/statistics/statistics.html>)」で公開されます。

平成 23 年度版 札幌の観光
平成 23 年 9 月発行

市政等資料番号	01-K04-11-955
広報印刷物登録番号	23-1-43
関係部局保存期間	1 年

編集・発行 札幌市観光文化局観光コンベンション部観光企画課
〒060-8611 札幌市中央区北 1 条西 2 丁目

TEL (011) 211-2376



Welcome to Sapporo

ようこそ

きらめく四季の

札幌へ